

鳥取市教育委員会事務の  
自己点検・評価報告書  
(令和3年度事業分)

---

令和5年2月

鳥取市教育委員会

---



## 目次

### I はじめに

1 制度の目的	1
2 点検・評価の対象	1
3 点検・評価の方法	2
4 自己点検・評価対象事業一覧	3～5

### II 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況	6
2 教育委員会会議の開催状況	6
3 教育委員会審議案件	6～7
4 その他の活動状況	8～9

### III 教育委員会の機構及び事務分掌

10～11

### IV 自己点検・評価の結果

1 社会を生きぬく力を育む教育の推進	
(1) 自立と創造の学校・学園づくり推進事業	
・・・・・・・・・・・・・・・・	[学校教育課] 13～14
(2) 魅力と徹底の学力向上推進事業	[学校教育課] 15～16
(3) G I G Aスクール構想事業	[学校教育課] 17～18
(4) 子どもたちの心と自治力育成事業	[学校教育課] 19～20
2 すべての子どもの学びの保障の充実	
(1) 児童生徒支援事業	[学校教育課] 21～22
3 充実した教育環境の推進	
(1) 大規模改造事業（小学校）	[教育総務課] 23～24
(2) 鳥取市立学校校区再編推進事業	[教育総務課] 25～26
(3) 学校働き方改革推進事業	[学校教育課] 27～28
(4) 放課後児童対策事業	[学校教育課] 29～30

4	生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実		
(1)	生涯学習推進事業	〔生涯学習・スポーツ課〕	31～32
(2)	人権教育推進事業	〔学校教育課〕	33～34
5	持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進		
(1)	地域学校協働活動推進事業費		
	・・・・・・・・・・	〔生涯学習・スポーツ課〕	35～36
(2)	生涯学習講座推進事業		
	麒麟のまちアカデミー開設	〔生涯学習・スポーツ課〕	37～38
6	歴史と文化が息づくふるさとの創生		
(1)	鳥取城跡保存修理事業	〔文化財課〕	39～40
(2)	歴史文化基本構想策定事業	〔文化財課〕	41～42
(3)	埋蔵文化財調査費	〔文化財課〕	43～44
7	親しみのある読書環境づくりの推進		
(1)	電子図書館管理運営費	〔中央図書館〕	45～46
(2)	地域社会教育活動総合事業	〔中央図書館〕	47～48
8	子どもの健全な食生活と学校保健の推進		
(1)	学校給食運営事業	〔学校保健給食課〕	49～50
(2)	備品整備（学校給食センター）	〔学校保健給食課〕	51～52
9	すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興		
(1)	子どものころづくり支援「夢の教室」事業		
	・・・・・・・・	〔生涯学習・スポーツ課〕	53～54
(2)	地域運営型部活動推進モデル事業		
	・・・・・・・・	〔生涯学習・スポーツ課〕	55～56
(3)	市民総スポーツ運動	〔生涯学習・スポーツ課〕	57～58
(4)	市民体育館等再整備事業	〔生涯学習・スポーツ課〕	59～60
V	学識経験者の意見（総評）		61～62

## I はじめに

### 1 制度の目的

鳥取市教育委員会は、市民一人ひとりが、社会の変化や課題に対応しながら夢や希望に向かって力強く歩んでいけるよう、ふるさとへの思いや志をもち、たくましく活躍できる人づくりを基本理念とし、教育の充実を図り、質を高める「知を開く」、郷土を愛し豊かな心を育む「徳を啓く」、未来を創造する健やかな体を育む「体を拓く」、という3つの「ひらく」を推進しております。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

鳥取市教育委員会は、この法の趣旨に則し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、令和3年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。点検・評価に当たっては、学識経験を有する者によるヒアリングを受け、主要な事業の評価及び全体的な総合評価をいただきました。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

本市では、「第11次鳥取市総合計画」や各種計画との整合性を図りながら今後5年間の教育施策の基本方針を示す「第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱」を定め、より具体的な方向性を示す「第2期鳥取市教育振興基本計画」を策定しました。令和4年度（令和3年度事業対象）の点検・評価の実施にあたっては、基本計画の具体的な取組の中から鳥取市教育委員会が重点的に取り組んでいる事業として、24事業を抽出し、点検・評価を実施しました。

### 3 点検・評価の方法

事業ごとの自己点検・評価シートに、教育委員会の自己評価を記入したうえで、学識経験者の所見をいただきました。

さらに、学識経験者からは点検・評価結果全体に対する総合評価をいただきました。

#### 【点検・評価シートの構成】

- ① 基本情報  
(総合計画の位置付け)
- ② 事業目的  
(対象、意図、手段)
- ③ 事業の年度別計画・実績
- ④ 令和3年度の事務事業実施概要
- ⑤ 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標
- ⑥ 活動指標の達成率
- ⑦ 評価
- ⑧ 事業の成果を踏まえた今後の方向性
- ⑨ 学識経験者の所見

#### 【ご意見をいただいた学識経験者】

- 鳥取大学 農学部生命環境農学科 学科長・教授 松村一善 氏
- 公立鳥取環境大学 経営学部 副学部長・教授 石川真澄 氏

4 自己点検・評価対象事業一覧（R3年度実績）

〔第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧〕 ※ [ ] 評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署
I 教育の充実を図りその質を高めます！ 【知を開く】	(1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進	1 小中一貫教育を推進し、学校・家庭・地域が連携、協働しながら、児童生徒の将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材を育成します。	1 自立と創造の学校・学園づくり推進事業費	学校教育課
		2 グローバル化や情報化等に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。	2 魅力と徹底の学力向上推進事業費	学校教育課
			3 GIGAスクール構想事業費	総合教育センター
			4 語学指導等外国青年招致事業費	学校教育課
			5 小学校外国語活動人材支援事業費	学校教育課
		3 人との豊かなかかわりにより児童生徒の自己有用感を高めるとともに自治力のある集団づくりを推進します。	6 子どもたちの心と自治力育成事業費	学校教育課
	(2) すべての子どもの学びの保障の充実	1 すべての児童生徒が自らの能力や可能性を最大限に伸ばすため、教育の機会を確保し、一人ひとりの実情やニーズに応じた教育の充実を図ります。	7 教職員研修運営事業費	学校教育課
			8 児童生徒支援事業費	総合教育センター
		3 配慮や支援を必要とする児童生徒の教育を保障し、福祉等と連携しながら社会的自立につながる適切な支援を行います。	9 特別支援教育推進事業費	学校教育課
			10 外国人等児童生徒編入学支援事業費	学校教育課
			11 遠距離通学費補助金(小学校)	学校保健給食課
			12 遠距離通学費補助金(中学校)	学校保健給食課
			13 要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	学校保健給食課
			14 要保護・準要保護児童就学援助費(中学校)	学校保健給食課
			15 準要保護児童・生徒給食扶助費(小学校)	学校保健給食課
			16 準要保護児童・生徒給食扶助費(中学校)	学校保健給食課
			17 特別支援学級教育就学奨励費(小学校)	学校保健給食課
			18 特別支援学級教育就学奨励費(中学校)	学校保健給食課
I 学校教育の充実を図りその質を高めます！ 【知を開く】	(3) 充実した教育環境の推進	1 子どもが生き生きと学び活動できる環境を整えるため、老朽化した施設の改修や、トイレの洋式化などの学校施設の充実を図ります。	19 学校維持補修費(小学校・大規模)	教育総務課
			20 大規模改修事業費(小学校)	教育総務課
			21 小学校増改築事業費	教育総務課
			22 学校維持補修費(中学校・大規模)	教育総務課
			23 中学校増改築事業費	教育総務課
		2 学校と地域が一体となり、地域の実情に応じた活力ある学校づくりをめざすため、学校のあり方を検討する組織づくりを支援します。	24 鳥取市立学校校区再編推進事業費	教育総務課
		3 ICTの活用や学校サポート体制の構築を図り、学校業務の効率化や共同化など学校業務の改善によって教職員の多忙化を解消します。	25 学校働き方改革推進事業費	学校教育課
		4 教職員の健康保持と教育活動の充実を図るため、労働安全衛生管理体制の整備を図ります。	26 学校医報酬等	学校保健給食課
			27 衛生管理費	学校保健給食課
		5 事故や災害、感染症等に対して、児童生徒が正しい知識をもち自らの命を守ることができるよう、実践的な学習を通して危機管理意識を高める教育を推進します。	28 学校安全推進事業費	学校教育課
			6 交通安全・防犯・災害時対応等の視点から、関係機関との連携のもと、通学路の安全確保を推進します。	29 事務局運営費(学校保健給食課)
		7 放課後児童クラブや放課後子ども教室を設置し、放課後の児童の安全・安心な場所を確保するとともに、家庭や地域等と連携し児童の健全な育成を図ります。		30 放課後児童対策事業費
			31 放課後子ども教室推進事業費	学校教育課

4 自己点検・評価対象事業一覧（R3年度実績）

〔第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧〕 ※ [ ] 評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署
II 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！ 【徳を啓く】	(1) 生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実	1 市民が自発的に、自由に学ぶことのできる多様な学習機会や情報の提供の充実を図ることで、生涯学習社会の実現をめざします。	32 生涯学習推進事業費	生涯学習・スポーツ課
		2 市民が学んだ成果を、地域でいかしながら自己実現を図り、生きがいに満ちた暮らしの実現を支援します。	33 地区公民館事業費	生涯学習・スポーツ課
		3 さまざまな学びや体験を通して、自分を取り巻く人々への感謝や敬愛・命の大切さや善悪の判断など豊かな心を育むとともに、人を大切にする人権教育の充実を図ります。	34 人権教育推進事業費	学校教育課
II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！ 【徳を啓く】	(2) 持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進	1 地区公民館等の社会教育施設の活用により地域の教育力を高め、学びの成果をいかした住民主体の地域づくりの推進を後押しします。	36 文化センター施設整備費	生涯学習・スポーツ課
		2 未来を創り出す子どもたちの成長のために、学校のみならず、地域住民や保護者等も含め、市民一人ひとりが教育の当事者となり、社会総がかりでの教育の実現を図ります。	37 ものづくり道場推進事業費	生涯学習・スポーツ課
			38 青年団体育成費補助金	生涯学習・スポーツ課
			39 PTA育成費	生涯学習・スポーツ課
		3 本市のもつ豊かな自然、産業、歴史、芸術、文化財等の地域資源を学びの中で活用し、ふるさとの良さに気づき、ふるさとを愛する心を育みます。	40 子育てネットワーク推進事業費	生涯学習・スポーツ課
			41 青少年団体育成費補助金	生涯学習・スポーツ課
			42 地域学校協働活動推進事業費	生涯学習・スポーツ課
			43 児童生徒交流体験事業費	学校教育課
			44 生涯学習講座推進事業費 麒麟のまちアカデミー開設費	生涯学習・スポーツ課
	45 さじアストロパーク企画イベント等事業費		さじアストロパーク	
	(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	1 文化芸術の振興や文化財への愛護精神の醸成を図り、文化財の保存と活用を進め、次世代への継承に努めます。	46 さじアストロパーク運営管理費	さじアストロパーク
			47 史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金	文化財課
			48 文化財調査費	文化財課
		2 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。	49 鳥取城跡保存修理事業	文化財課
			50 歴史文化基本構想策定事業費	文化財課
			51 埋蔵文化財調査費	文化財課
		3 情報発信を促進し、観光客など多くの人が来訪する、歴史と文化の薫りに満ちた活力あるまちづくりを推進します。	52 上寺地遺跡管理事業費	文化財課
			53 旧美敷水源地道施設管理活用事業費	文化財課
54 歴史博物館管理費			文化財課	
II 郷土愛を醸成し豊かな心を育みます！ 【徳を啓く】	(4) 親しみのある読書環境づくりの推進	1 年齢や障がいの有無などに関わらず、すべての市民が読書を通して、豊かな心や夢を育み、人づくりや地域づくりを推進します。	55 仁風閣・宝扇庵管理	文化財課
			56 因幡万葉歴史館管理費	文化財課
		2 図書館を通してさまざまな出会いの場をつくり、市民が集い、にぎわい、つながりあう交流を促進し、さらなる地域文化の創造を支援します。	57 文化財団運営補助金事業	文化財課
			58 図書購入費	中央図書館
		3 学校・家庭・地域と図書館との連携を図りながら、子どもたちの読書活動を推進し、家庭・地域の教育力の向上を図ります。	59 電子図書館管理運営費	中央図書館
			60 一般管理費（市民図書館）	中央図書館
61 図書館情報管理システム処理費	中央図書館			
62 地域社会教育活動総合事業費	中央図書館			

4 自己点検・評価対象事業一覧（R3年度実績）

〔第2期鳥取市の教育等の振興に関する大綱 施策体系・事務事業一覧〕 ※  ・評価対象事業

基本方針	政策	推進施策	事業名	担当部署
III 未来を創造する 健やかな体を育 みます！ 【体を拓く】	(1) 子どもの健全 な食生活と学 校保健の推進	1 児童生徒の心身の成長や健康の保持増進を図るため、学校給食の栄養バランスを工夫するとともに、地場産物の活用や望ましい食習慣を養う取組など食育の推進を図ります。	63 給食配達委託費	学校保健給食課
			64 給食調理委託費	学校保健給食課
			65 学校給食未納対策費	学校保健給食課
			66 学校給食運営事業費	学校保健給食課
		2 学校給食センターの再整備、設備の充実に取り組むとともに、食物アレルギー対応等の対策を強化し、安全で安心な学校給食を提供します。	67 備品整備(学校給食センター)	学校保健給食課
			68 学校給食食物アレルギー対策事業費	学校保健給食課
			69 学校給食食物アレルギー対策事業費(研修費)	学校保健給食課
		3 児童生徒の心身の健全な発達を図るため、教科や特別活動など、教育活動全体を通して学ぶ保健教育と、環境衛生の維持、健康診断の実施など、学校における保健管理を推進し、生きる力を育みます。	70 学校医報酬等	学校保健給食課
			71 衛生管理費	学校保健給食課
			72 子どものころづくり支援「夢の教室」事業費	生涯学習・スポーツ課
III 未来を創造する 健やかな体を育 みます！ 【体を拓く】	(2) すべての市民 がいつでも親 しむことので きるスポーツ 活動の振興	1 乳幼児から高齢者まで運動やスポーツに親しむ機会の充実に取り組み、体方向上と健康寿命の延伸を図りながら、豊かな心と健やかな体を育みます。	73 市民体育祭開催費	生涯学習・スポーツ課
			74 子どもの身体・健康づくり推進事業費	生涯学習・スポーツ課
			75 地域運営型部活動推進モデル事業費	生涯学習・スポーツ課
			76 麒麟のまち交流スポーツ大会事業費	生涯学習・スポーツ課
		2 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての市民がいつでもスポーツに親しめる多様なスポーツ活動を推進し、市民がいつでも誰もがスポーツに取り組むため各地域や各種団体等のスポーツ推進人材の育成を進めます。	77 地域運営型部活動推進モデル事業費	生涯学習・スポーツ課
			78 ガイナーレ鳥取力向上事業費	生涯学習・スポーツ課
		3 2020年東京オリンピック・パラリンピックの経験を糧にスポーツの大規模競技会や事前キャンプを積極的に誘致して、市内外の交流人口を増加させ、スポーツを通じた活力あるまちづくりを進めます。	79 リーグ公式戦等運営費	生涯学習・スポーツ課
			80 鳥取マラソン開催費	生涯学習・スポーツ課
			81 スポレク祭開催費	生涯学習・スポーツ課
		4 新に整備する市民体育館やバードスタジアムを核とした、すべての市民がスポーツに参画できる安全で多様なスポーツ環境の確保を図ります。	82 市民総スポーツ運動費	生涯学習・スポーツ課
			83 体育施設管理費	生涯学習・スポーツ課
			84 屋外体育施設管理費	生涯学習・スポーツ課
			85 市民体育館等再整備事業費	生涯学習・スポーツ課
			86 地区体育館管理費	生涯学習・スポーツ課
			87 屋外体育施設管理費	生涯学習・スポーツ課
			88 小学生スポーツ全国大会出場補助金	生涯学習・スポーツ課

## Ⅱ 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員選任状況（令和3年度）

職名	氏名	備考
教育長	尾室 高志	R3.10.1～（3期目）
教育長職務代理人	藤井 喜臣	R3.10.6～（3期目）
委員	山脇 彰子	H30.10.9～（2期目）
委員	畑 千鶴乃	R1.10.15～（2期目）
委員	前田 哲雄	R2.10.1～

### 2 教育委員会会議の開催状況

定例教育委員会	12回（毎月1回）
臨時教育委員会	3回

### 3 教育委員会審議案件

(1) 教育委員会規則・訓令の制定及び改廃	……	10件
(2) 条例改正及び予算の議案についての意見申出	……	0件
(3) 職員の人事に関する事	……	3件
(4) 工事請負契約の締結・変更及び財産の取得に関する事	…	0件
(5) 指定管理者の指定に関する事	……	0件
(6) その他	……	3件
合計	……	16件

【教育委員会審議案件一覧】

議案番号	提出(審議)日	種別	件名	担当課
第26号	R3.4.30	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	教育総務課
第27号	R3.7.27	人事	教職員の処分について	学校教育課
第28号	R3.8.24	その他	中学校教科用図書の採択について	学校教育課
第29号	R3.9.28	規則	鳥取市立小学校、中学校及び義務教育学校の施設の開放に関する規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第30号	R3.9.28	規則	鳥取市コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第31号	R3.9.28	規則	鳥取市多目的スポーツ広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第32号	R3.12.24	規則	鳥取市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則の一部改正について	学校教育課
第33号	R3.12.24	規則	鳥取市立幼稚園管理規則の一部改正について	学校教育課
第34号	R3.12.24	規則	鳥取市さじアストロパークの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第35号	R3.12.24	その他	鳥取市歴史文化基本構想の策定について	文化財課
第36号	R3.12.24	規程(訓令)	鳥取市立小学校、中学校及義務教育学校職員服務規程の一部改正について	学校教育課
第1号	R4.2.15	人事	条件付き採用期間中の職員の正式採用について	学校教育課
第2号	R4.2.28	規程(訓令)	鳥取市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第3号	R4.3.9	人事	令和3年度末教職員人事異動内示について	学校教育課
第4号	R4.3.28	規則	鳥取市多目的スポーツ広場の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について	生涯学習・スポーツ課
第5号	R4.3.28	その他	鳥取市文化財の指定解除について	文化財課

#### 4 その他の活動状況

##### (1) 学校計画訪問

教育現場の実態や課題を把握するとともに、指導や助言を行い、適切な学校運営を支援するため、年次計画的に学校訪問を実施しており、令和3年度は7月から11月にかけて下記の学校を訪問し、授業（指導案、学習過程）及び学級経営等への指導をとおして、教職員の資質（授業力・教師力）の向上を図りました。

##### 【令和3年度 学校計画訪問実施校】 計13校

小学校 (9校)	津ノ井小学校、湖山西小学校、宮ノ下小学校、国府東小学校、河原第一小学校、佐治小学校、宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校
中学校 (3校)	中ノ郷中学校、気高中学校、青谷中学校
義務教育学校 (1校)	福部未来学園

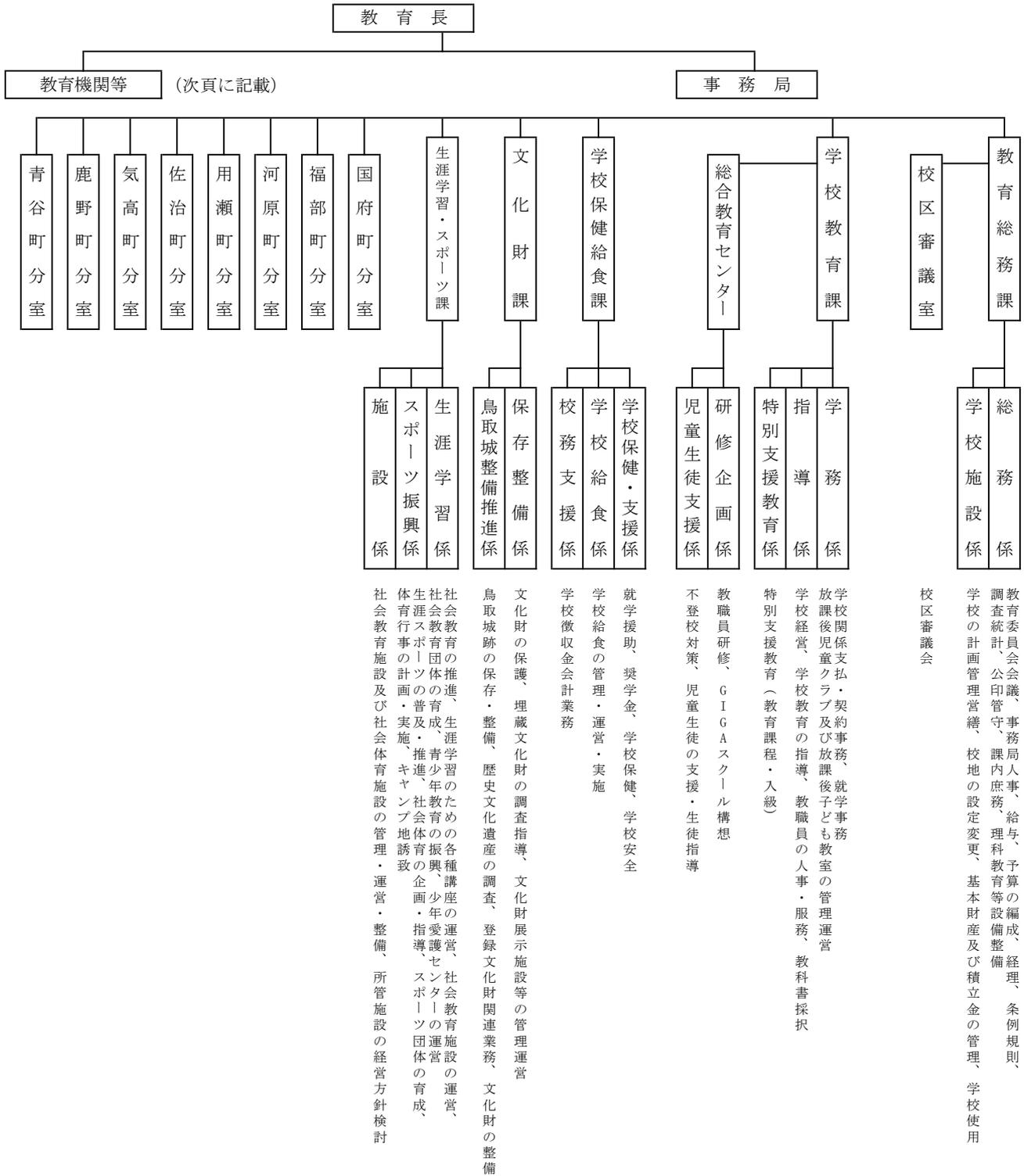
##### (2) 協議会、研修会等への出席

時 期	内 容
7月1日	鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会（オンライン）
7月1日	鳥取県市町村教育委員会研究協議会研究大会（オンライン） 研究発表 第1部会（教育行財政） 「日南町の教育行政」 第2部会（学校教育） 「ICT教育と働き方改革」 第3部会（社会教育・保健体育・文化） 「がんばろう 社会教育！ －牛歩さえ 明日へ踏みゆく コロナの代－」
7月15日	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会（オンライン） 実践発表 ①「夢と希望に満ちた次代をひらく教育」 ②「家庭・地域・学校で育む出雲の教育」 記念講演 「今、人の成長には、 そして地域コミュニティにもアートが必要だ」
9月2日 (第1回) 2月10日 (第4回)	市町村教育委員会協議会（オンライン） 内容…地域と学校の連携・協働、学校における働き方改革、 教育の情報化、過疎地域の小規模校の在り方

11月4日	教育委員会教育委員研修会（倉吉市） 内容…不登校対策について、ICTについて、 学力向上について
-------	--

(3) 総合教育会議

時 期	内 容
第 1 回 (1月21日)	鳥取市GIGAスクール構想について 放課後児童クラブの現状と取組について 学校適正規模・適正配置の進捗について



●教育機関等施設所在地

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
〔市役所〕		62	高草中学校	121	千代水地区公民館	169	千代テニス場
1	鳥取市役所本庁舎	63	湖東中学校	122	大茅地区公民館	170	城北テニス場
3	市役所駅南庁舎	65	桜ヶ丘中学校	123	成器地区公民館	171	Axisパードスタジアム
4	国府町総合支所	66	中ノ郷中学校	124	谷地区公民館	172	国府町農村勤労福祉センタープール
5	福部町総合支所	67	国府中学校	125	宮下地区公民館	173	国府町運動場
6	河原町総合支所	69	河原中学校	126	あおば地区公民館	174	鳥取市若葉台スポーツセンター
7	用瀬町総合支所	70	千代南中学校	127	福部地区公民館	175	福部町ほっとスイミングプール
8	佐治町総合支所	72	気高中学校	128	河原地区公民館	176	福部町グラウンド
9	気高町総合支所	74	青谷中学校	129	国英地区公民館	177	福部町テニスコート
10	鹿野町総合支所	〔市立義務教育学校〕		130	八上地区公民館	178	河原町総合運動場
11	青谷町総合支所	32	湖南学園	131	散岐地区公民館	180	佐治町B&G海洋センター
〔市立小学校〕		68	福部未来学園	132	西郷地区公民館	181	佐治町多目的運動広場
12	久松小学校	54	鹿野学園（流沙川学舎）	133	社地区公民館	182	気高町B&G海洋センター
13	醇風小学校	73	鹿野学園（王舎城学舎）	134	用瀬地区公民館	183	気高町運動広場
14	遷喬小学校	26	江山学園	135	大村地区公民館	184	気高町龍見台テニスコート
15	修立小学校	〔市立幼稚園〕		137	宝木地区公民館	185	鹿野町B&G海洋センター
16	日進小学校	75	福部未来学園幼稚園	138	酒津地区公民館	186	鹿野町運動広場
17	富桑小学校	76	河原あゆっこ園	139	瑞穂地区公民館	187	青谷町グラウンド
18	稲葉山小学校	77	幼児センターこじか園	140	逢坂地区公民館	188	青谷町グラウンドゴルフ場
19	城北小学校	〔総合教育センター〕		141	浜村地区公民館	〔武 道 館〕	
20	美保小学校	78	総合教育センター	142	鹿野地区公民館	189	鳥取市武道館
21	賀露小学校	〔中央公民館〕		143	勝谷地区公民館	196	鳥取市弓道場
22	明德小学校	79	中央公民館	144	小鷲河地区公民館	〔学校給食施設〕	
23	倉田小学校	〔地区公民館〕		145	青谷地区公民館	191	第一学校給食センター
24	面影小学校	88	久松地区公民館	146	日置地区公民館	192	第二学校給食センター
27	大正小学校	89	遷喬地区公民館	147	日置谷地区公民館	193	湖東学校給食センター
28	東郷小学校	90	城北地区公民館	148	勝部地区公民館	194	国府学校給食センター
29	明治小学校	91	浜坂地区公民館	149	中郷地区公民館	195	河原学校給食センター
30	世紀小学校	92	中ノ郷地区公民館	〔主なコミュニティ施設〕		197	気高学校給食センター
31	湖山小学校	93	醇風地区公民館	80	国府町コミュニティセンター	198	鹿野学校給食センター
33	末恒小学校	94	修立地区公民館	81	福部町コミュニティセンター	199	青谷学校給食センター
34	米里小学校	95	日進地区公民館	82	河原町コミュニティセンター	〔主な文化観光施設〕	
35	津ノ井小学校	96	富桑地区公民館	83	用瀬町民会館	200	仁風閣
36	浜坂小学校	97	明德地区公民館	84	佐治町コミュニティセンター	201	鳥取世界おもちゃ館（わらべ館）
37	岩倉小学校	98	美保地区公民館	85	気高町コミュニティセンター	202	鳥取市歴史博物館（やまびこ館）
38	美保南小学校	99	美保南地区公民館	87	青谷町コミュニティセンター	203	因幡万葉歴史館
39	湖山西小学校	100	稲葉山地区公民館	〔生涯学習施設〕		204	河原歴史民俗資料館
40	中ノ郷小学校	101	岩倉地区公民館	150	鳥取市文化センター	205	用瀬郷土歴史館
41	若葉台小学校	102	倉田地区公民館	151	鳥取市こども科学館	206	佐治天文台（さじアストロパーク）
42	宮ノ下小学校	103	面影地区公民館	152	鳥取市福祉文化会館	207	佐治歴史民俗資料館
43	国府東小学校	104	津ノ井地区公民館	154	鳥取市サイクリングターミナル砂丘の家	208	青谷上寺地遺跡展示館
45	河原第一小学校	105	若葉台地区公民館	155	鳥取市視聴覚ライブラリー	209	あおや郷土館
46	西郷小学校	106	米里地区公民館	213	鳥取市生涯学習センター	〔図 書 館〕	
47	散岐小学校	107	神戸地区公民館	〔主な体育施設〕		210	鳥取市立中央図書館（市役所駅南庁舎）
48	用瀬小学校	108	大和地区公民館	158	河原町総合体育館	211	用瀬図書館
49	佐治小学校	109	美徳地区公民館	159	河原町勤労者体育館	212	気高図書館
50	宝木小学校	110	東郷地区公民館	160	用瀬町勤労者体育センター	〔主なスポーツ施設〕	
51	瑞穂小学校	111	大正地区公民館	162	気高町勤労者体育センター	166	青谷町農林漁業者トレーニングセンター
52	浜村小学校	112	豊実地区公民館	163	気高町農業者トレーニングセンター	167	鳥取市スケートボード場
53	逢坂小学校	113	明治地区公民館	164	鹿野町農業者トレーニングセンター	168	鳥取市B&G海洋センター
55	青谷小学校	114	松保地区公民館	165	青谷町体育館	〔主なスポーツ施設〕	
〔市立中学校〕		115	湖南地区公民館	〔主なスポーツ施設〕		〔主なスポーツ施設〕	
56	東中学校	116	湖南地区公民館大郷分館	〔主なスポーツ施設〕		〔主なスポーツ施設〕	
57	東中学校のぞみ分校	117	末恒地区公民館	〔主なスポーツ施設〕		〔主なスポーツ施設〕	
58	西中学校	118	湖山地区公民館	〔主なスポーツ施設〕		〔主なスポーツ施設〕	
59	南中学校	119	湖山西地区公民館	〔主なスポーツ施設〕		〔主なスポーツ施設〕	
60	北中学校	120	賀露地区公民館	〔主なスポーツ施設〕		〔主なスポーツ施設〕	

## IV 自己点検・評価の結果

## 自己点検・評価シート

整理No.	1	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費	所属名	学校教育課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	I 教育の充実を図りその質を高めます!【知を開く】	
	政策	(1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進	
	推進施策	1. 小中一貫教育を推進し、学校・家庭・地域が連携、協働しながら、児童生徒の将来に対する夢・希望や志をひらき、次代を担う人材を育成します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市の小・中・義務教育学校が、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえて、自立して創意工夫のある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、創意や工夫・考え方を審査して予算配分する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	年度別計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	
	年度別実績	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	24,373	0	0	0	0	
	直接経費 A	22,911	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	22,911				
一般財源							
人件費 B	1,462	0					
職員数の内訳	正規職員	0.20					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>現在、地域とともにある特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。</p> <p>この事業は、そのような学校経営を後押しするために学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で必要な予算を措置する。学校は、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、地域の郷土芸能指導の講師謝金や地域での体験活動（川遊び体験、稲作体験等）に係る費用、校外学習の移動交通費等、創意工夫のある学校づくりに予算を活用している。</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	夢や目標をもっている児童生徒の割合(小学校)	%	目標	86	87	88	89	90
				実績	77.4	81.4			
	(指標の説明) 児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進によって、故郷に愛着をもち将来への希望をもつ児童の割合が高まると考える								
	2	夢や目標をもっている児童生徒の割合(中学校)	%	目標	72	73	74	75	76
実績				65.9	65.9				
(指標の説明) 児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進によって、故郷に愛着をもち将来への希望をもつ生徒の割合が高まると考える									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	夢や目標をもっている児童生徒の割合(小学校)	%	90%	94%	94%		
	2	夢や目標をもっている児童生徒の割合(中学校)	%	92%	90%	90%	90%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	自主的・自立的な学校経営や、国がめざす「地域とともにある学校づくり」を後押しする事業となっている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童生徒や保護者、地域の実態や願いが加味された各学校の特色ある教育活動の推進に大いに役立っており、大変有効な事業である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各学校が独自に企画立案した計画書をもとに予算配分をしており、自立と創造の学校づくりに有効に活かされている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全小・中・義務教育学校で実施し、児童生徒に還元される事業であり、公平性が確保されている。
担当課等の評価コメント	それぞれの小・中・義務教育学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されており、「自立と創造の学校づくり」の上で十分な成果が見られ、なくてはならない事業と言える。委託事業として今後も継続したい。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	市内の小・中・義務教育学校が特色ある学校づくりを目指して取り組む教育活動を支援するものであり、対象校全てが利用していることから必要な事業であることがわかる。各学校の創意工夫、自主的な取組に関する企画立案を教育委員会が評価・査定して予算配分を行っており、適切に事業が行われていると推察する。ただし、自己点検・評価シートからは、令和3年度にどのような取組を評価・査定して予算配分を行ったかまでは読み取れない。教育委員会としての評価・査定のポイントについても可能な範囲で記載することが望ましいと考える。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	各学校独自の取り組みを後押しするための助成事業であるため、具体的な内容は各校により異なる。事業の評価としては自主的・自立的な学校経営の進展や深化に関連した要素を指標としてみるのが適切ではないか。現在の評価指標は、活動指標としても本事業の評価に用いることは大いに疑問がある。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性	令和5年度からは、「魅力ある算数・数学等実践推進事業」、「笑顔あふれる自治力育成研究事業」の事業を本事業に統合し、児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえて、自立して創意工夫のある学校づくりに対する予算配分を適切に行い、特色ある教育活動をより一層推進していく。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	2	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	魅力と徹底の学力向上推進事業費	所属名	学校教育課

## 1. 基本情報

位 基 教 置 本 育 づ 計 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	1 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進	
	推進施策	2. グローバル化や情報化等に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校
意 図 (どのような状態にするために)	学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組を徹底し、学力を向上をめざす。
手 段 (どうするのか)	①魅力ある授業づくりのための実践を指定中学校区で行い、全中学校区で共有し授業改善に活かす。 ②全小・中・義務教育学校に基礎学力定着支援員を配置し、学習内容の定着を図る。 ③鳥取市共有学力調査を実施することで学力状況を把握し、授業改善に活かす。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施	①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施	①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施	①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施	①魅力ある算数・数学等実践推進事業：希望する中学校区で実施 ②基礎学力定着支援事業：全ての学校で実施 ③鳥取市共通学力調査：全ての学校で実施	
	年度別実績	①3中学校区（湖東、中ノ郷、鹿野） ②支援回数2, 229回 支援員延べ141名 ③小・義務2～3年：国・算、中・義務1～3年：国・数・社・英・理					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,321	0	0	0	0	
	直接経費 A	14,397	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
その他		14,397					
一般財源							
人件費 B	2,924	0					
職員数の内訳	正規職員	0.40					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組を徹底することで学力向上をめざす。</p> <p>①魅力ある算数・数学等実践推進事業：主体的に学びに向かう児童生徒を育成し学力の向上を図るため、鳥取市学力向上推進プロジェクトチーム作成『算数・数学の「楽しい授業」ポイント』を活用した「魅力ある授業づくり」について研究する。</p> <p>②基礎学力定着支援事業：小・中・義務教育学校の児童生徒を対象として、学校と基礎学力定着支援者の連携のもとに、授業後下校までの時間及び長期休業等を利用した基礎学力定着支援を実施し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>③鳥取市共通学力調査：児童生徒の学習内容の定着度や学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。</p> <p>全国学力・学習状況調査で「算数・数学の勉強が好き」と回答する割合は小学校65.7%、中学校53.7%、「算数・数学の授業がよくわかる」と回答する割合は小学校81.9%、中学校71.7%であり、いずれの指標についても令和元年度から上昇した。（※令和2年度は全国学力・学習状況調査が実施されていない）</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	1	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	目標	62.4	66	66.2	66.3	66.4	
				実績	65.7					
	(指標の説明)									
	2	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	目標	52.3	54	54.3	55.3	56.3	
				実績	53.7					
	(指標の説明)									
	3	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	目標	65.6	66.6	67.6	68.6	69.6	
				実績	57.7					
(指標の説明)										
4	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	目標	65.5	66.5	67.5	68.5	69.5		
			実績	57.2						
(指標の説明)										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	105%				
	2	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	103%				
	3	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	88%				
	4	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	87%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取県教育委員会の「鳥取県学力向上推進プラン」においても「子どもたち一人一人の関心意欲の向上と確かな学力の定着」が目標に掲げられている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	算数・数学に係る活動指標について、小・中ともに全国平均を下回ったものの、令和元年度実績から小学校4.3ポイント、中学校2.4ポイント上昇した。国語については、令和元年度実績から小学校6.9ポイント、中学校7.3ポイント低下したものの、小・中ともに全国平均並である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	魅力ある算数・数学等実践推進事業については、事業費を各中学校区で柔軟に使用できるようにしている。基礎学力定着支援事業についても、実施回数を目安を設定しつつ、各学校の計画に応じ増減して実施できるようにしている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	3中学校区による魅力ある算数・数学等実践推進事業の成果と課題については、実践報告動画を市内全ての学校に配信して共有した。
担当課等の評価コメント	算数・数学に係る活動指標について、令和元年度実績からは上昇しているものの、小・中ともに全国平均を下回っている。国語については、小・中ともに全国平均並であるものの、令和元年度実績から低下している。魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組の徹底を継続する必要がある。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	本事業は①「魅力ある算数・数学等実践推進事業」②「基礎学力定着支援事業」③「鳥取市共通学力調査」の3つで構成されており、①②については成果が現れるまでに一定の期間が必要であると推察する。活動指標とした「教科の勉強が好きな児童・生徒の割合」は①②の成果が現れた後に向上すると考えられるため、①②の事業実績を直接把握できる活動指標を用いることが望ましいと考える。本事業の活動を通して、算数・数学の授業を楽しめ、基礎学力の向上に繋がる児童・生徒が増えることを期待したい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本事業は、事業を実施した学区で得られた知見を全市で共有することにより全市的な授業の質的改善と学力向上をめざすものであるため、活動指標が市全体の「当該教科の勉強が好きな児童生徒の割合」であることは適切と考える。一方で、全市的な効果の発現は中長期的に期待される面が強く、当面の事業の評価に際しては事業に参加した学区のみでみた指標も併用することも考えられるのではないかと。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率的・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性	学識経験者からの指摘を踏まえ、魅力ある算数・数学等実践推進事業実践中学校区各学校の実績も補助的に取り扱うこととする。基礎学力定着支援事業については、授業後下校までの時間及び長期休業等を利用して実施することに加えて、授業中の定着支援を学級担任及び教科担任と連携して実施することも可とし、学校の実情に応じ柔軟に実施できるよう改める。

## 自己点検・評価シート

整理No.	3	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	G I G Aスクール構想事業費	所属名	学校教育課総合教育センター

## 1. 基本情報

位 基 置 教 本 育 づ 計 振 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I 教育の充実を図りその質を高めます!【知を開く】	
	政策	(1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進	
	推進施策	2. グローバル化や情報化等に対応した授業改善を進め、児童生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びの実現をめざします。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校
意 図 (どのような状態にするために)	鳥取市G I G Aスクール構想を推進し、子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育の実現に向けて、I C Tを効果的に活用した学習を行う。
手 段 (どうするのか)	学校内のI C T環境を引き続き整備する。 I C Tを効果的に活用する教員のサポート体制の構築を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	G I G Aスクールサポーター業務委託 校内環境整備	G I G Aスクール運営支援センター業務委託 校内環境整備				
	年度別実績	G I G Aスクールサポーター業務委託 電子黒板整備 小学校9校88台、中学校4校6台 普通教室アクセスポイント追加設置 小学校5校 中学校3校					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	86,431	0	0	0	0	
	直接経費 A	71,811	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,107				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	67,704						
人件費 B	14,620	0					
職員数の内訳	正規職員	2.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	令和2年度に完了した児童生徒への一人一台の端末整備を生かし、3年度はI C Tの効果的な活用をはじめとする多様な学び方の工夫により魅力ある授業づくりに向けたサポート体制の構築を行った。
-----------	--

## 5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	1	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	目標	62.4	66	66.2	66.3	66.4	
				実績	65.7					
	(指標の説明)									
	2	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	目標	52.3	54	54.3	55.3	56.3	
				実績	53.7					
	(指標の説明)									
	3	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	目標	65.6	66.6	67.6	68.6	69.6	
				実績	57.7					
(指標の説明)										
4	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	目標	65.5	66.5	67.5	68.5	69.5		
			実績	57.2						
(指標の説明)										

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	105%				
	2	教科(算数・数学)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	103%				
	3	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(小学校)	%	88%				
	4	教科(国語)の勉強が好きな児童生徒の割合(中学校)	%	87%				

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもたち一人ひとりのニーズに合わせた教育に向けてICTを効果的に活用しており、妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童生徒に一人一台端末を整備したことで、一人ひとりの教育的ニーズへの対応がより可能で、感染症等による長期休校等の場合でも自宅学習にも対応できるようになり有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	計画的にICTの環境整備を進めており、効率的である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内小・中・義務教育学校の全児童生徒へ端末を整備している。
担当課等の評価コメント	端末を活用する児童生徒及び教員のサポート体制を整えられた。	

## 8. 学識経験者の所見

## 【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	GIGAスクール構想事業で、令和2年度に市内の全小・中・義務教育学校を対象に端末と関連機器、校内ネットワークの整備を行っており、令和3年度は利用サポート（ヘルプデスク）、電子黒板や追加の教室整備を行っている。ただし、端末利用に関しては有料のアプリ、コンテンツ、教材等は予算措置がされていないため、無料のものとなっている。今後は必要に応じて、有料教材整備、教材活用方法の共有、端末・ネットワークの保守等にも十分な予算を毎年計上し、教育方法の改善につなげることを期待したい。
--------	---

## 【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本事業で整備したICT教育環境は、その活用により魅力ある授業づくりに寄与するものであり、「魅力と徹底の学力向上推進事業」の目標に間接的に貢献すると考えられる。しかしながら、事業評価の活動指標を複数事業で同じものを用いた場合にはどの事業が目標に寄与したか判別できず、評価上問題を生じることが懸念される。本事業については、ICT環境の教育上の利活用に絞った指標を併用し、本事業独自の評価の余地を残すべきものとする。
--------	---

## 9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性	ICTを効果的に活用し、児童生徒一人ひとりに応じた学びの実現や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につながるよう環境整備の充実を図っていく。また、引き続き運営支援センターによる学校・教職員のサポートの充実を図っていく。	

## 自己点検・評価シート

整理No.	6	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	子どもたちの心と自治力育成事業費	所属名	学校教育課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(1) 社会を生きぬく力を育む教育の推進	
	推進施策	3. 人との豊かなかかわりにより児童生徒の自己有用感を高めるとともに自治力のある集団づくりを推進します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校
意 図 (どのような状態にするために)	①道徳教育実践研究事業は、現行学習指導要領を踏まえた効果的かつ多様な指導方法や地域の特色を生かした道徳教育の充実を図る。 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業は、学級・学校経営の要となる「自治的能力」や「人間関係形成力」の育成を図り、児童生徒の自己有用感を高める。
手 段 (どうするのか)	①道徳教育実践研究事業は、指定校による実践的な研究を行い道徳教育の充実を図るとともに、その成果等について全県的な発信を行う。 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業は、指定中学校区で特別活動の実践研究を行い、市内各学校にその成果を広めていく。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	①道徳教育実践研究事業…指定校にて実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施	①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施	①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施	①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施	①道徳教育実践研究事業…希望する学校があれば指定校として実践的な研究を実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…指定中学校区にて実践的な研究を実施	
	年度別実績	①道徳教育実践研究事業…小学校1校、中学校1校で実施 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…3中学校区で実施					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,700	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,238	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	637				
		地方債					
		その他					
一般財源	601						
人件費 B	1,462	0					
職員数の内訳	正規職員	0.20					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	①道徳教育実践研究事業…外部講師を招聘し「考え議論する道徳」への授業改善や家庭・地域との連携による道徳教育の推進を図る。 ②笑顔あふれる自治力育成研究事業…外部講師を招聘し特別活動での合意形成を図る話し合い活動などの研究を行う。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(小学校)	%	目標	76	77	78	79	80
				実績	69.7				
	(指標の説明)								
	2	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(中学校)	%	目標	76	79	79.3	79.6	80
実績				78.3					
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(小学校)	%	92%				
	2	人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合(中学校)	%	103%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	目的が明確であり妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	指定校・実践中学校区での授業改善が図られている。成果指標（児童生徒アンケート項目）に対する肯定的回答率が上昇する学年があり有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実態に合わせて外部講師を招聘したり、教育活動に必要なものが購入されたりし、研究が進められている。道徳教育実践研究事業においては、その成果等を研究協議会にて県内の学校に発信している。笑顔あふれる自治力育成研究事業においては、研究会を参観し合ったり、中学校区で話し合いグッズを揃えたりなど、小小・小中連携も進められた。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	指定校に必要な経費が配分されての研究実践ではあるが、その成果や成果物を市内各学校に発信・共有するということから、やや公平である。
担当課等の評価コメント	道徳教育実践研究事業は、指定校において積極的に道徳教育の研究が進められた。笑顔あふれる自治力育成研究事業は、中学校区の学校間で連携し特別活動の研究が進められた。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	道徳教育実践研究事業と笑顔あふれる自治力育成研究事業の2事業で構成されており、いずれも指定校・実践中学校区での実践的な研究を行っている。その成果は研究協議会等で発信されているが、令和3年度の研究成果が指定校等以外に波及するには時間を要すると考えられる。そのため、活動指標としては指定校・実践中学校区における結果を市の平均と比較して用いるのが望ましいと考えられる。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本事業は指定校での研究事業が中心であるものの、全市的な道徳教育の改善を企図したものであるため、活動指標が全市的なものとして設定されていることは適切と思われる。「自治力」や「自己有用感」といったキーワードと活動指標の関係がやや弱い印象もあるが、「全国学力・学習状況調査」を利用する形で現場や児童生徒の負担を抑制しながら実態を把握する方法を採っており、合理的な判断と考える。一方で、指定校での直接的な事業の効果を捉えるため、指定校のみでみた当該の指標を把握することも有用ではないか。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性

## 自己点検・評価シート

整理No.	8	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	児童生徒支援事業費	所属名	総合教育センター

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	I	教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】
	政策	(2)	すべての子どもの学びの保障の充実
	推進施策	2.	不登校やその傾向にある児童生徒の教育を保障し、適切な支援を行います。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小・中・義務教育学校及びその児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取市立小・中・義務教育学校の児童生徒における不登校及び不登校傾向の解消及び未然防止</li> <li>鳥取市立小・中・義務教育学校の児童生徒の不登校、いじめや暴力行為等問題行動の未然防止及び貧困や児童虐待等の不安や悩みの解消</li> </ul>
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取市不登校対策専門委員会にて不登校対策について総括的に討議し、不登校の未然防止と課題解消を推進する。全児童生徒を対象にスクリーニングシートを活用した実態把握を行い、組織的な児童生徒支援を行っていく。</li> <li>福祉等の関係諸機関と連携しながら児童生徒やその保護者に効果的な支援ができるよう諸条件の環境整備を行う。</li> <li>不登校及び不登校傾向の児童生徒に対して、相談室等での教育相談及び自立支援・学習支援を行う。</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	年度別計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	年度別実績	①不登校対策専門委員会の開催アドバイザーの派遣 ②児童生徒相談員の配置 ③スクールソーシャルワーカーの配置 ④フリースクール等への利用料助成 等					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	50,488	0	0	0	0	
	直接経費 A	49,026	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,851				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	44,175						
人件費 B	1,462	0					
職員数の内訳	正規職員	0.20					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>児童生徒の不登校、いじめや問題行動、貧困、児童虐待等の諸問題の解決に向けて、児童生徒相談員を配置し相談室等での教育相談及び自立支援・学習支援の充実を図った。また、スクールソーシャルワーカーを活用しながら福祉、医療等の関係諸機関と連携し、児童生徒や保護者に効果的な支援を行った。</p> <p>①不登校対策専門委員会の開催(年2回)及びアドバイザーの派遣(3校)            ②児童生徒相談員の配置14校(14名)            ③スクールソーシャルワーカーの配置(8名配置)            ④市サポートルームやフリースクールで学ぶ児童生徒への通所費や交通費等に係る費用に対する助成(16家庭)            ⑤全児童生徒の実態把握のためのスクリーニングシートの活用(全小・中・義務教育学校で実施)等</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	不登校児童生徒が学校以外の地域人材や関係諸機関等の支援につながっている割合	%	目標	83.5	83.5	83.5	83.5	83.5
				実績	83.5				
	(指標の説明)								
	2		目標						
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	不登校児童生徒が学校以外の地域人材や関係諸機関等の支援につながっている割合	%	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	不登校の要因、いじめや問題行動、また、貧困や児童虐待のケースが増加し、その背景も複雑になり、多様な支援を実施する中で、目的は明確であり、妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本市の不登校対策について、不登校対策専門委員から助言を受けながら、児童生徒相談員による校内での支援や関係機関等と連携しながら外部機関等につなげる等、充実を図っている。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各学校の不登校の出現率や相談室の利用頻度等を考えながら、小・中学校へ児童生徒相談員を配置している。スクールソーシャルワーカーについては、毎月1回の全小・中・義務教育学校を巡回訪問を行いながら兄弟姉妹関係を含めた支援を考慮できている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	スクールソーシャルワーカーについては、担当校区の学校を定期的に巡回訪問しており、市内全校を対象に相談・対応ができている。また、全小・中・義務教育学校に同一のスクリーニングシートを活用し、全児童生徒への見立てを行い、不登校やいじめ、問題行動、貧困等の早期発見、早期支援にあたっている。
担当課等の評価コメント	不登校対策専門委員による助言を受けながら、不登校をはじめ、学校だけでは対応困難なケースについて、スクールソーシャルワーカーの活用等をしながら適切な支援へつなげてきている。学級以外の学びの場を活用するために、児童生徒相談員を配置し、児童生徒の教育相談及び自立支援・学習支援を行ってきている。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	不登校、問題行動、児童虐待等多様な問題に悩む児童生徒を対象として支援を行う事業であり、重要性は高い。児童生徒相談員、スクールソーシャルワーカー等の専門性の高い業務に対するニーズが高まっており、十分な報酬を手当てしながら必要な人材の確保・育成に取り組むことを期待したい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	不登校などの学校不適応の児童生徒は本市にとって以前より大きな課題であり、様々な施策や制度が展開されてきた。それらの機能を「支援につながっている比率」で評価することは納得できる。個々に要因や事情が異なることを考慮すれば、直接的に事態の解決や不適応の発生抑制を指標とすることを避けることも理解できる。活動指標の目標は初年度は達成しており、この水準が数年継続するようであれば、目標水準の引き上げも検討されることが望ましい。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性	児童生徒の不登校、いじめや問題行動、貧困、児童虐待等の諸問題について、その要因や背景は個々によって様々である。R4は新たにサポートルーム「懐」を開設するなど支援体制の充実を図っているところである。また、支援のニーズも多岐に渡る中、関係諸機関との連携は不可欠であり、スクールソーシャルワーカーの需要が高まっている。児童生徒へ幅広い支援に繋げるために、ICTの活用やスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い者の増員など、事業全体として積極的な拡充が必要と考えている。		

# 自己点検・評価シート

整理No.	20		
事務事業名	大規模改造事業（小学校）	所属名	教育総務課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(3) 充実した教育環境の推進	
	推進施策	1. 子どもが生き生きと学び活動できる環境を整えるため、老朽化した施設の改修や、トイレの洋式化などの学校施設の充実を図ります。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校施設
意図 (どのような状態にするために)	安全・安心な施設環境と充実した教育環境を推進する。
手段 (どうするのか)	校舎などの大規模改造等を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内容	年度別計画	①江山学園普通教室棟長寿命化改良工事 ②江山学園特別教室棟増築工事 ③福部未来学園駐車場整備工事	①江山学園特別教室棟増築工事 ②福部未来学園グラウンド等整備工事	①江山学園外構工事	①米里小学校トイレ改修工事	①校舎等の老朽化対策やトイレの洋式化などの工事を実施	
	年度別実績	①江山学園普通教室棟長寿命化改良工事 ②江山学園特別教室棟増築工事 ③福部未来学園駐車場整備工事					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	576,912	0	0	0	0	
	直接経費 A	569,602	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	139,057				
		地方債	414,400				
		その他	0				
		一般財源	16,145				
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>【事業概要】 安全・安心な施設環境と充実した教育環境を推進するため、校舎や屋内運動場などの大規模改造等を実施する。</p> <p>【事業の成果】 義務教育学校の校舎の改修等を行った（江山学園・福部未来学園）。</p> <p>《実施事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江山学園普通教室棟長寿命化改良工事〔RC造3階建て 延べ床面積：2,281㎡〕</li> <li>江山学園特別教室棟増築工事〔鉄骨造3階建て 延べ床面積：1,648㎡〕</li> <li>福部未来学園駐車場整備工事〔駐車場約50台、旧自転車小屋の解体など〕</li> </ul> <p>【参考（令和3年度に他事業で実施した主な工事）】 南中学校管理棟・特別教室棟増築工事、南中学校管理棟改修工事、浜坂小学校校舎増築工事</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	各年度事業進捗	%	目標	100	100	100	100	100
		(指標の説明)							
	2	学校施設のトイレ(大便器)洋式化率	校	実績		28	33	38	43
		(指標の説明) 大便器のうち洋式化割合が5割以上の学校数(小学校・義務教育学校)							

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	各年度事業進捗	%	100%				
	2	学校施設のトイレ(大便器)洋式化率	校					

鳥取市役所:  
現時点の計画では、  
令和5年度 39校  
令和6年度 40校  
令和7年度 43校  
となる予定です。  
ただし、令和7年度実施予定分の3校については、宝木・浜村・逢坂のため、実施を見合わせることもある。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	施設の安全性や充実した教育環境を確保するための必要な整備を実施している。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	施設の安全性や充実した教育環境を確保するための必要な整備を実施している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	交付金や起債など有利な財源の確保を図っている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年次的な整備計画について検討するとともに、必要な整備を実施している。
担当課等の評価コメント	引き続き、安全・安心な施設環境と充実した教育環境の確保に向け必要な整備を実施する。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	事業計画に基づき、適切に事業の実施が行われていると判断した。
--------	--------------------------------

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	大規模改造については中長期的な年次計画に基づいて計画的に実施されているため、事業のあり方としては適切と思われるが、各年度で計画した事業が計画通りに実施することを活動指標とすることは、教育委員会の内部的な要因で遅延する可能性があると思われため、疑問は残る。教育振興基本計画では本事業に関する項目の目標指標として「トイレ洋式化率」を挙げているが、こうした中長期的な改善が目に見える指標を併用することも検討いただきたい。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性

## 自己点検・評価シート

整理No.	24	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	鳥取市立学校校区再編推進事業費	所属名	教育総務課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	1 教育の充実を図りその質を高めます！ 【知を開く】	
	政策	(3) 充実した教育環境の推進	
	推進施策	2. 学校と地域が一体となり、地域の実情に応じた活力ある学校づくりをめざすため、学校のあり方を検討する組織づくりを支援します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	市民全般
意 図 (どのような状態にするために)	学校と地域が一体となり、地域の実情に応じた活力ある学校づくりを目指す。
手 段 (どうするのか)	地域で学校のあり方について議論する、「学校のあり方を考える検討組織」の立ち上げを支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針の周知	「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催	「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催	「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催	「学校のあり方を考える検討組織」づくりの推進や「ブロック別協議会」の開催	
	年度別実績	保護者・地域向け説明会計13回					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	15,468	0	0	0	0	
	直接経費 A	848	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	848						
人件費 B	14,620	0					
職員数の内訳	正規職員	2.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	「鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、地域協議を前提とすることを基本として、おおむね20年後の学校の適正規模・適正配置について検討を進める。令和3年度は、地域の学校のあり方を考える検討組織の設置に向け、各学校区において地域説明会等を実施した。今後も地域としての意向を集約するため、各地域で開催する説明会や及び関係諸団体の会合等を通じて「学校のあり方を考える検討組織」の必要性を周知するとともに、組織づくりを支援し、地域の意見を踏まえた学校配置を行う。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	地域で学校のあり方を考える検討組織の設置数	校区	目標	6	20	33	43	43
				実績	6				
(指標の説明) ブロックごとに優先順位をつけて検討組織の立上げをうながす(市内5ブロック)									
2				目標					
				実績					
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	地域で学校のあり方を考える検討組織の設置数	校区	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針において将来的に児童生徒数が減少しても、子どもたちにとってより良い教育環境を確保するために全ての校区において、学校のあり方を考える検討組織の立ち上げることとしており、目的は妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	すでに学校のあり方を考える検討組織の立ち上がっている校区での取り組みを参考に、他校区においても検討組織設立に向けた検討が進みつつあり、有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	P T A連合会及び自治会連合会当にも協力いただきながら各校区に組織立ち上げに向けた働きかけを行っており、効率的である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内全小学校区及び義務教育学校区を対象にしており、公平である。
担当課等の評価コメント	令和3年度は鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について各小中学校区PTA、各種団体等に説明を行った。令和4年度以降も引き続き、学校のあり方を考える検討組織の立ち上げの支援を行う。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	令和3年3月に公表された「鳥取市学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、概ね20年後の学校の適正規模・適正配置について地域で話し合いを進めるための環境整備を行うため、令和3年度は保護者・地域向け説明会が開催され、検討組織も6校区で設立されている。ただし、基本方針内にも、適性規模・適性配置について合意形成を図るべき目標年次が示されておらず、活動指標として設定されている検討組織の設置数の増加速度が適切であるかどうかの判断がつかない。検討組織には中期的な話し合いの期間が求められることから、事業内に検討組織の活動に関わる工程表に関する記載が必要になると判断した。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業の名称から、校区の再編が必要な場合を想定したものであり、具体的な再編の動きが見られない状況での事業の扱いが困難なものと思われる。一方で、地域と学校とが連携することの必要性は多くの事業で認識され、取り組みが行われている中で、「地域での学校のあり方を考える検討組織」の設置が校区再編と直結しているかのような誤解を招かないよう、活動指標の扱いには十分な注意が必要と思われる。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	事業計画に基づき事業を実施する。なお、令和5年度以降は、中長期的なブロック内の学校の将来像について合意形成を図るための組織（ブロック協議会）の立上げに向けても、地域への働きかけを行う。

## 自己点検・評価シート

整理No.	25	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	学校働き方改革推進事業費	所属名	学校教育課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(3) 充実した教育環境の推進	
	推進施策	3. ICTの活用や学校サポート体制の構築を図り、学校業務の効率化や共同化など学校業務の改善によって教職員の多忙化を解消します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態にするために)	学校や教員の膨大な業務範囲を整理し、限られた時間の中で教師の専門性を活かしつつ、授業改善のための時間や児童生徒に接する時間を確保できる勤務環境を整備する。
手段 (どうするのか)	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内容	年度別計画	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 (5校)	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 (5校)	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置	
	年度別実績	①学校業務支援システムの運用 ②スクールサポートスタッフの配置 (5校)					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	18,860	0	0	0	0	
	直接経費 A	16,667	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	16,667						
人件費 B	2,193	0					
職員数の内訳	正規職員	0.30					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	①全県で統一された学校業務支援システムを導入することで、様式の標準化や情報共有の効率化を図る。 ②授業の準備など教員が行う業務のうち専門的な知識や技術を要しない業務をスクールサポートスタッフが担うことで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に一層注力できるよう環境を整備する。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	1人あたりの時間外勤務における月平均時間	時間	目標	48	36	34	32	30
		(指標の説明)		実績	37.1				
	2			目標					
		(指標の説明)		実績					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	1人あたりの時間外勤務における月平均時間	時間	129%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開を吟味し合う時間を増加させ、教育の質の向上と教員の業務改善を図る必要がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	教員の時間外勤務の削減に必要な事業であり、目標とする数値に達している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校業務支援システムやスクールサポートスタッフ配置により成果が上がっている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	学校業務支援システムは全校導入されているが、スクールサポートスタッフは配置校のみとなっている。
担当課等の評価コメント	各校で業務改善を進めており成果が上がっているが、さらに進めるための施策を検討していく必要がある。また、学校間で取組に差がある部分もあるため、成果の上がっている取組を共有していきたい。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	本事業は校務支援システム導入とスクールサポートスタッフの配置により、教職員の負担軽減を目指すものである。校務支援システムは、平成30年度に導入されていることから、同システム利用による教職員の負担軽減は一定、達成されていると考えられる。今後も負担軽減を図るためには、スクールサポートスタッフの配置増に加えて、適切な教諭配置数の実現、業務フローの見直し等が必要になると思われる。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業評価のためのエビデンスの提供を求め、学校現場に負担をかけている立場から触れにくいだが、学校現場が本来の児童生徒への教育に注力できるよう、事務手続きや文書作成業務などの負担を軽減することは極めて重要であり、本事業の意義は大きい。初年度は目標値を下回ったが、夏休み等の期間を利用して調整した結果の平均であることを考慮すると、平時の実態は指標以上のものと思われる。教育現場に意欲ある人材を呼び込むためにも、継続的な取り組みを期待したい。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性

## 自己点検・評価シート

整理No.	30	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	放課後児童対策事業費	所属名	学校教育課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	I 教育の充実を図りその質を高めます！【知を開く】	
	政策	(3) 充実した教育環境の推進	
	推進施策	7. 放課後児童クラブや放課後子ども教室を設置し、放課後の児童の安全・安心な場所を確保するとともに、家庭や地域等と連携し児童の健全な育成を図ります。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意 図 (どのような状態 にするために)	昼間保護者が就労等のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を確保することで、児童の健全な育成を図る。
手 段 (どうするのか)	小学校児童を学校の余裕教室や専用施設等で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	
	年度別実績	①放課後児童クラブの設置74クラブ（うち新規3クラブ） ②保護者会等に委託し運営（保護者会委託32クラブ、NPO法人委託42クラブ）					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	635,997	0	0	0	0	
	直接経費 A	621,377	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	379,556				
		地方債	500				
		その他	10,006				
一般財源		231,315					
人件費 B	14,620	0					
職員数の内訳	正規職員	2.00					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	保護者が就労等により家にいない時間帯の小学生の居場所として、学校の余裕教室等を活用した放課後児童クラブを設置することで、児童の心身ともに健全な育成を図る。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	有資格者である放課後児童支援員の割合	%	目標	53	54	55	56	57
				実績	48				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	有資格者である放課後児童支援員の割合	%	91%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	放課後児童クラブのニーズは年々高まっており、妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	放課後児童クラブを74クラブを開設し、昼間保護者が就労等のため家にはいない小学校児童の適切な遊び及び生活の場を確保し、児童の健全育成につながっている。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	報酬や管理費等の経費を委託料として受託者に支払うほか、受託者が保護者負担金を徴収することで、放課後児童クラブの運営を行っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	児童クラブ設置の必要がある校区にはすべて開設をしており、入級児童数が増加する等必要に応じて複数開設を行っている。また、委託料の支払いは児童クラブの規模（児童数）に応じて算定しており、公平性は保たれている。
担当課等の評価コメント	放課後児童クラブのニーズは高く、役割は大きい。今後も入級希望児童の把握に努め、必要に応じて開設場所の確保を行う必要がある。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	市内全体では低学年の入級率が50%に近くなっており、利用希望者の増加、対象学年の拡大にともない児童クラブの設置数を増やして対応してきている。保護者のニーズの高い重要な事業であると判断できる。一方で、財政的にも現状の方式で対症療法的に児童クラブ設置数を年々増やす整備方針は限界に来ていると思われる。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	所定の研修を受講した放課後児童支援員を有資格者とし、その比率を本事業で提供するサービスの質に関係するものと位置づけて評価するものと思われる。コロナ禍のように、子どもを取り巻く問題も変化することを踏まえると、研修の質の維持と、定期的を受講して支援員の能力を維持・改善することが期待される。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	放課後児童クラブへの入級希望児童数は増加傾向にあり、開設場所の確保が急務である。放課後児童クラブの開設場所については、まずは学校施設内を第一としている。余裕教室の利用や特別教室等の共用が困難な場合には、児童が安全・安心に過ごすことができる場所として、普通教室を児童クラブの活動スペースとして行くことを検討していく。また、放課後児童クラブ支援員の確保も課題であることから、処遇改善等の取組の推進も必要である。

## 自己点検・評価シート

整理No.	32	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	生涯学習推進事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】	
	政策	(1) 生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実	
	推進施策	1. 市民が自発的に、自由に学ぶことのできる多様な学習機会や情報の提供の充実を図ることで、生涯学習社会の実現をめざします。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	新市域の住民
意 図 (どのような状態 にするために)	新市域において、住民が必要に応じて学習活動に参加できる環境を整備することを目指す。
手 段 (どうするのか)	合併前から各町村で行われていた生涯学習事業を引き継ぎ、地域性を生かし、地域に根付いた事業を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	高齢者向け講座の開催 成人向け講座の開催 子供向け講座の開催	高齢者向け講座の開催 成人向け講座の開催 子供向け講座の開催	高齢者向け講座の開催 成人向け講座の開催 子供向け講座の開催	高齢者向け講座の開催 成人向け講座の開催 子供向け講座の開催	高齢者向け講座の開催 成人向け講座の開催 子供向け講座の開催	
	年度別実績	講座開設数 261講座 延参加人数 5,501人					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,849	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,153	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	1,153						
人件費 B	11,696	0					
職員数の内訳	正規職員	1.60					
	嘱託職員	8.00					
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	各8町の分室で生涯学習事業が行われた。 高齢者向け講座、成人向け講座、女性対象講座、子ども対象講座、子育て支援、スポーツ教室、図書行事、作品展、伝統行事の継承など
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	生涯学習事業の開催 (指標の説明)	件	目標	300	300	300	300	300
				実績	261				
	2	(指標の説明)		目標					
				実績					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	生涯学習事業の開催	件	87%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域のニーズに合わせ、地域にあった生涯学習事業が開催されており、妥当と考える。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各分室で実施される生涯学習事業が、生涯学習の機会の充実、社会の要請にこたえる（地域課題解決）学習機会の寄与、世代間交流、地域住民のつながり、地域で子どもを育てる機運の醸成等に繋がる、有効な事業である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取市文化センターや、地区公民館における生涯学習事業との整合性を取りながら、重複するような内容の事業を整理し、分室として必要な事業を厳選しながら整理・再編を行っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	中心市街地から離れていても、合併前と同様に各地域で生涯学習事業に参加が可能で、公平である。
担当課等の評価コメント	地域のニーズにあわせた、特色のある生涯学習事業が行われている。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	2004年の広域合併以前の町村で実施されていた生涯学習事業を継承して、総合支所単位での生涯学習に取り組むものであり、各地域での生涯学習の機会充実により一定の役割を果たしてきたと考えられる。ただし、鳥取市文化センター、地区公民館が実施する生涯学習事業との役割分担については、十分な整理ができていないように見受けられる。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	新市域8町の公民館が実施する事業を包括するものであるため、個々の講座や事業の有効性を反映した評価を行うことは困難である。しかし、講座の開催件数のみ増やすような事態は避けるべきであり、実施された講座の質や効果を把握する意味では、講座や参加者を抽出して満足度を調査するといった取り組みも必要ではないか。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input checked="" type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	新市域8町エリアで実施している生涯学習事業については、各分室にヒアリングを実施し今後整理を行っていく旨を伝えている。ただし、高齢者を対象にした多くの事業は、公民館範囲では規模的に実施困難であったり、全市対象事業とした場合は会場までの移動が困難といった事例もある。開催件数を調整する方向で検討を進めたい。		

# 自己点検・評価シート

整理No.	34	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	人権教育推進事業費	所属名	学校教育課・総合教育センター

## 1. 基本情報

位 基 教 育 本 育 つ 計 振 げ 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ	郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】
	政策	(1)	生涯にわたり、心豊かに学び育つことができる環境の充実
	推進施策	3.	さまざまな学びや体験を通して、自分を取り巻く人々への感謝や敬愛・命の大切さや善悪の判断など豊かな心を育むとともに、人を大切にする人権教育の充実を図ります。

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校及びその児童生徒
意 図 (どのような状態にするために)	・児童生徒の自治力を育み、いじめを許さない風土をつくること、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことでいじめの未然防止や早期発見・対応につなげる。 ・小・中・義務教育学校及びその児童生徒、保護者等のいじめ防止教育や情報モラル教育を含めた人権意識の高揚を図る。
手 段 (どうするのか)	・全小・中・義務教育学校における鳥取市Smileプロジェクトの実施や専門家を派遣した情報モラル教育の推進による人権意識の高揚と啓発を行う。 ・いじめ防止対策推進委員会でいじめ防止に対して統括的に討議し、いじめの未然防止や課題解消を推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施	①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施	①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施	①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施	①Smileプロジェクトの推進 ②いじめ防止リーフレットの作成 ③いじめ防止対策推進委員会の開催 ④情報モラル研修会を実施	
	年度別実績	①Smile月間を実施 ②リーフレットを全児童生徒に配布 ③いじめ防止対策推進委員会を年2回開催 ④18校で21回実施					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,688	0	0	0	0	
	直接経費 A	378	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	378						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	いじめ防止・情報モラル教育推進事業では、子どもたちの自治力を育み、いじめを許さない風土をつくること、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことでいじめの未然防止や早期発見・対応につなげる。 スマートフォン、ゲーム機等のメディア機器の使い方やマナーを啓発教育し、適正な使用やインターネット上でのマナーを身につけたり、それらを使ったいじめを防止したりすることを目的に情報モラル研修会を実施した。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	自分にはよいところがあると思う児童(小学校及び義務教育学校前期)の割合	%	目標	80.5	82	83.5	85	86
				実績	75.6				
	(指標の説明)								
	2	自分にはよいところがあると思う生徒(中学校及び義務教育学校後期)の割合	%	目標	75.5	77	78	79	80
実績				75.3					
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	自分にはよいところがあると思う児童(小学校及び義務教育学校前期)の割合	%	94%				
	2	自分にはよいところがあると思う生徒(中学校及び義務教育学校後期)の割合	%	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	・目的が明確であり妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	・「鳥取市いじめ防止対策推進委員会」を年2回開催し、委員の助言を受け「未然防止」と「早期発見・早期対応」を柱に取組を進めた。 ・情報モラル教育の実施校や実施回数が増加し、学校のニーズや現代的な課題にあった研修が行われており有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	・Smile月間（いじめ防止強調月間）に合わせていじめ防止リーフレットを全児童生徒に配布し、各学校が活用している。 ・外部講師を積極的に招聘し、学校の実態に合わせた情報モラル教育が進められている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	・各校に必要な経費が配分され、公平である。
担当課等の評価コメント	いじめの未然防止や早期発見・対応のためには、児童生徒の自治力を育み、いじめを許さない風土をつくること、学校・保護者・地域が一体となっていじめ防止のための取組や啓発を行うことが重要である。そのためには、各事業を効果的に関連付け、見直しをしながら進めていきたい。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	鳥取市SmileプロジェクトでのSmile宣言等、一定の活動成果をあげていると思われるが、活動指標等に含まれていないため、評価が困難である。多様な活動を含む事業であるため、活動指標としては多様な活動の成果を総合的に把握するものが採用されていると推察するが、年度別計画の①～④についてもそれぞれ活動実績を評価できるような指標についても検討されてはどうか。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	人件費を除く直接的な事業の経費は規模も小さく、本事業が全市的な活動指標に影響を及ぼす程度は限定的と思われるが、目標とすべきアウトカムの指標としては意義あるものとする。指標となっている自己肯定感といじめの関係性について、記載があると事業と評価との関係の見通しがよくなると思われる。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	学校で1人1台端末を活用するようになったことや、子どもたちのスマートフォン所持率の向上に伴い、SNSや無料通話アプリで交流することが日常化しており、インターネット上の人権に係る問題も増加している。本市独自の取組である「鳥取市Smileプロジェクト」や情報モラル教育推進事業等で引き続き人権教育の充実を図る。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	42	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	地域学校協働活動推進事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位 基 置 教 本 育 づ 計 振 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】	
	政策	(2) 持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進	
	推進施策	2. 未来を創り出す子どもたちの成長のために、学校のみならず、地域住民や保護者等も含め、市民一人ひとりが教育の当事者となり、社会総がかりでの教育の実現を図ります。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	地域と学校
意 図 (どのような状態 にするために)	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動
手 段 (どうするのか)	モデル地区に地域と学校のつなぎ役として地域学校協働活動推進員を配置し、持続可能な協働活動となるように地域学校協働本部の設置に向けて調整を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	地域学校協働本部設置 数 1 0 地区	地域学校協働本部設置 数 1 4 地区	地域学校協働本部設置 数 1 4 地区	地域学校協働本部設置 数 3 0 地区	地域学校協働本部設置 数 4 3 地区	
	年度別実績	3 地区					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,551	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,896	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	595				
		地方債					
		その他					
人件費 B	1,301						
職員数の 内 訳	正規職員	0.50					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	<p>学校と地域のつなぎ役となる地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を配置。 また、生涯学習・スポーツ課に配置した統括推進員によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に向けて活動を実施。</p> <p>【配置状況】 令和3年度 統括推進員1名 推進員8名</p>
---------------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	地域学校協働本部の設置数	校区	目標	10	14	14	30	43
				実績	3				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	地域学校協働本部の設置数	校区	30%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域と学校の連携・協働による子どもたちの教育環境の充実とそれを支えるひとづくり・つながりづくりの充実を図るため妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域学校協働活動推進員を配置することにより、地域と学校の連携が図られ、少しずつではあるが地域全体で子どもたちの学びや成長を支える仕組みづくりが進んでいる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域学校協働活動推進員を配置することにより、地域と学校の窓口が一本化されお互いの負担感が軽減されている。また、情報共有がより図られるようになった。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	モデル地区の選定方法は、小中学校に周知し希望があった地区の状況を聞き取り選定している。
担当課等の評価コメント	地域学校協働活動は、地域と学校が連携・協働をしながら「学校を核とした地域づくり」を目指し今後の地域づくりに重要な事業である。今後も、鳥取市の推進方法を検討するため実施地区の拡充を図りながら継続していく。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	学校と地域のつなぎ役となる地域学校協働活動推進員を配置し、持続可能な協働活動となるように地域学校協働本部の設置に向けて調整を図ろうとするものであり、モデル地区を徐々に増やしながら事業に取り組んでいる。ただし、推進員等の配置人数、地域学校協働本部の設置数だけでは、事業の成果としてのどのような活動が取り組まれたのか、判断できない。各協働本部で取り組まれた活動内容についても、可能な範囲で事務事業の実施概要等に記載することをお願いしたい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	地域と学校との連携を謳う事業は他にもみられるが、本事業は地域側、社会教育側から連携を図る事業である。とはいえ、地域と学校との連携のための場や組織体が複数存在することは事業の重複や縦割りなどの弊害も懸念される。多様なニーズが有ることは理解できるが、受け皿となる連携組織は集約して地域と学校の主体性を強めることも考えられるのではないかと。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	地域学校協働活動の取組は確実に進んでいるものの、当活動の情報発信は効果的になされていないと感じていること、推進員の活動内容を具体的に規定していないため推進員を活動実態に差があることが課題であると認識している。次年度は推進員の活動内容を具体的に定めたり、未実施校へのアプローチする企画を検討していきたい。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	44	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	生涯学習講座推進事業費麒麟のまちアカデミー開設費	所属名	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ	郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】
	政策	(2)	持続可能な地域づくりを支える社会教育の推進
	推進施策	3.	本市のもつ豊かな自然、産業、歴史、芸術、文化財等の地域資源を学びの中で活用し、ふるさとの良さに気づき、ふるさとを愛する心を育みます。

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	麒麟のまち圏域1市6町の住民
意 図 (どのような状態にするために)	生涯学習講座「麒麟のまちアカデミー」を開講し、時代の変化に対応し、生活に必要となる知識や技能の習得や社会課題の学習、自己の生きがいづくりなど、生涯にわたり取り組める学習環境を提供する。
手 段 (どうするのか)	鳥取市文化センターを生涯学習講座や講師等の情報の拠点とし、鳥取市尚徳大学（高齢者向け講座）、鳥取市民大学（成人向け講座）への麒麟のまち圏域全体から参加を受け入れる「麒麟のまちアカデミー」を運営している。 子どもから専門家まで、自由なものづくりの可能性を拡げる市民工房として、「ファブラボとっとり」を運営し、レーザー・デジタル加工機当を使った工作教室を実施している。 子どもから大人まで、多様な学習機会や情報の提供を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	講座受講者の満足度 85%	講座受講者の満足度 87%	講座受講者の満足度 88%	講座受講者の満足度 89%	講座受講者の満足度 90%	
	年度別実績	講座受講者の満足度 83%					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	15,259	0	0	0	0	
	直接経費 A	14,528	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	7,751				
一般財源	6,777						
人件費 B	731	0					
職員数の内訳	正規職員	0.10					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>鳥取市尚徳大学の開催（高齢者向け講座）          専門コース 書道（22回）、彫刻（20回）、絵画（10回）、民芸（11回）          教養コース 貢献（10回）、社会（4回）、健康（6回）、郷土（5回）          延参加者数 1,851人（6町参加者 延16人）</p> <p>鳥取市民大学の開催（成人向け講座）          教養コース（20回）          技能コース 書道（27回）、華道（27回）、バランストレーニング（27回）、茶道（26回）、骨盤メンテナンス（7回）、むくみデトックス（6回）          延参加者数 848人（6町参加者 延41人）</p> <p>ファブラボとっとり（市民工房）          工作教室（10回）延べ参加者27人</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	講座受講者の満足度	%	目標	85	87	88	89	90
				実績	83				
	(指標の説明)								
	2		目標						
		実績							
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	講座受講者の満足度	%	98%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生活に必要な知識や技能、社会的課題の学習、生きがいづくりに関する生涯学習講座の提供を行った。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	高齢者の年齢にふさわしい社会的能力を高める学習講座を開催した。成人を対象に一般的な教養から専門的な知識の各種講座を開催した。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	本市の生涯学習拠点として、鳥取市文化センターで生涯学習講座を一元的に実施し、効率的な運営が行われ、情報提供の充実が図られた。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	講座の開催案内は、広報誌やホームページ、公民館等の公共施設への案内チラシの配架を行い、公平に行っている。
担当課等の評価コメント	令和3年度より、6町に参加対象を上げた。 オンラインによる講座配信や、録画DVDの貸し出しに取り組んだ。 新型コロナウイルスの影響がある中、感染対策を十分に行い、なるべく講座を中止しないよう、計画通り実施するよう努めた。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	麒麟のまち圏域の住民を対象とした生涯学習講座の開催を中心とした事業であり、多くの講座が開設されている。ただし、本事業と他の生涯学習関連事業との役割分担については、もう少し明確に示しておく必要がある。なお、事業の年度別計画・実績については、活動指標である受講者の満足度ではなく、具体的な開設（予定）講座数・受講（見込み）人数を記載する形式に変更する方が望ましいと思われる。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	コロナ禍での講座の開催は困難も予想され、また参加を自粛する判断をした方も多数おられたであろうことを踏まえると、延べ受講者数からみた講座1回当りの受講者数が少ないこともやむを得ない。こうした中で受講者からの一定の満足度を維持したことは評価すべきものと思われる。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	圏域からの参加者数の増加や、鳥取市で学ぶだけでなく圏域のまちで移動して学ぶという機会が不足していると考え。次年度は構成するプログラムの見直しと新温泉町といった連携自治体での講座開催に向けて調整していく予定としている。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	49	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	鳥取城跡保存修理事業	所属名	文化財課

## 1. 基本情報

位基 置本 づ計 振 け画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	II 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】	
	政策	(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	
	推進施策	1. 文化芸術の振興や文化財への愛護精神の醸成を図り、文化財の保存と活用を進め、次世代への継承に努めます。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意 図 (どのような状態にするために)	1 文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。 2 市民の史跡への理解を深め、利活用の推進と全国への情報発信を図る。
手 段 (どうするのか)	1 「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。 2 「鳥取城フォーラム」や見学会、展覧会等を実施し、情報発信と利活用の推進に努める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	①大手登城路の復元整備を実施する。 ②文化財の保存修理を実施する。 ③史跡の管理・環境維持を実施する。 ④史跡の調査研究・情報発信を行う。	
	年度別実績	①中ノ御門渡櫓門復元工事に着手した。 ②渡櫓門周辺の石垣の修理を行った。 ③史跡の管理・環境維持を実施した。 ④史跡の調査研究・情報発信を行った。					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	361,943	0	0	0	0	
	直接経費 A	350,978	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	212,629				
		地方債	116,200				
		その他	9,558				
一般財源		12,591					
人件費 B	10,965	0					
職員数の内訳	正規職員	1.50					
	嘱託職員	2.00					
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国史跡指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、令和5年度を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、平成20年度から復元の資料を得るための発掘調査を補助事業で実施している。</p> <p>【事業の成果】 市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図り、史跡の管理・活用を適正に実施した。</p> <p>1. 復元整備事業 中ノ御門渡櫓復元工事に着手し、それに係る関連工事を実施した。</p> <p>2. 維持管理・環境整備事業</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	大手登城路等石垣修理	%	目標	65	70	75	80	85
				実績					
	(指標の説明) 大手登城路及びその周辺の石垣修理工事の進捗率								
	2	大手登城路復元整備	件	目標	3	1	1	1	1
		実績		3					
(指標の説明) 大手登城路内で整備する復元建物の整備工事数									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	大手登城路等石垣修理	%	100%				
	2	大手登城路復元整備	%	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	1 国指定史跡であり、管理団体として保存活用に努める必要がある。また、中心市街地の都市核の中心を占め、市民の心のよりどころでもあるため。 2 管理団体として鳥取市が積極的に保存・活用に当たる必要があり、また、市民の期待も強い。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	1 鳥取城跡の保存活用の推進は、中心市街地の活性化に資するとともに、史跡内にある久松公園、重要文化財仁風閣等の活用にもつながる。 2 鳥取城フォーラム、現地説明会等は常に一定以上の参加者を得ているが、より広範な市民に情報発信するために、お城祭り等の観光事業等や関係機関との協調を一層図る必要がある。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	1 指定文化財として慎重な取り扱いが必要であり、さらに既存の県有施設との調整等が不可欠である。 2 鳥取市歴史博物館、観光協会等との協力関係により、効率的に事業実施ができています。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	1 無料で利用でき、文化財に関心のある市民だけでなく、市街地に残る豊かな自然環境、また、都市公園として広く利用することができる。 2 市民及び全国的にも城郭遺跡として一定程度の認知を得て活用されている。
担当課等の評価コメント	令和9年度の大手登城路完成に向けて着実に事業を実施していきたい。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	長期的な保存整備計画の下、大手登城路の復元整備に取り組むものであるが、国庫補助金の交付額が要求額を下回ることが状態化しており、復元整備は着実に進んでいるものの計画通りに進んでいない。ただし、復元整備自体は毎年、着々とすすめられている。予定されていた「鳥取城フォーラム」は新型コロナの感染拡大を受け中止となったが、今後も鳥取城跡の復元整備には長期の時間を要することから、事業に対する市民の理解が深まるよう市民への情報発信等の内容についても事業成果としてのPRを期待したい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	事業費が国の動向に左右される部分が多く、長期的な事業となっている。事業への市民の理解を確保するためにも継続的な情報発信が必要と思われるが、従来より情報発信の場づくりや機会を捉えての発信を活発に行なっている。メディアなどを通じて城郭への関心は維持されており、文化財としての真正性を発信することは観光等に利活用を図る際にも有効と思われる。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	現在進めている復元整備を着実に進めていくとともに、情報発信のさらなる充実を図る。

# 自己点検・評価シート

整理No.	50	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	歴史文化基本構想策定事業費	所属名	文化財課

## 1. 基本情報

位 基 置 教 本 育 づ 計 振 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】	
	政策	(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	
	推進施策	2. 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	地域の文化財
意 図 (どのような状態にするために)	計画的に保存活用を図る。
手 段 (どうするのか)	文化財のマスタープランである歴史文化基本構想を策定する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	策定業務委託 委員会の開催	シンポジウムの開催				
	年度別実績	策定業務委託 委員会の開催					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,750	0	0	0	0	
	直接経費 A	4,440	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	4,440					
人件費 B	7,310	0					
職員数の 内 訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の 実施概要	<p>(1) 事業の概要 歴史文化基本構想を策定し、文化財に関する保存活用のマスタープランとすることで、効率的・効果的な文化財保護と文化財を生かした地域づくりに資する。</p> <p>(2) 事業の成果 歴史文化基本構想策定業務を委託 委員会の開催 鳥取市歴史文化基本構想本編、資料編及び概要版発行</p>
---------------	---

## 5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	委員会の開催	回	目標	1				
				実績	1				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	委員会の開催	%	100%				
	2							

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	歴史文化基本構想は文化財のマスタープランとなるものであり、策定を進める必要がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地域の文化財を発掘することができ、それを今後に生かすことができるため、事業は有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域の文化財を発掘していく上で、地元の人が調査しており、効率的に行うことができる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	歴史文化基本構想は市域全体を対象としており、公平である。
担当課等の評価コメント	地域計画策定に向けて、引き続き調査を実施する必要がある。	

## 8. 学識経験者の所見

## 【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	1回の歴史文化基本構想策定委員会開催、基本構想策定業務の委託を行い、令和4年3月には鳥取市歴史文化基本構想本編、資料編及び概要版が発行されている。基本構想本編は271ページに及び、鳥取市ホームページよりダウンロード可能であると同時に、各地区の公民館、図書館で閲覧可能である。基本構想は基礎調査の結果等を含む貴重なものであり、資料編とあわせて市内の小中高等学校等、誰もが利用可能な形で公開することが望ましいと考えられる。
--------	---

## 【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本事業の有効性は、策定された歴史文化基本構想を今後の施策の中でどのように活用するかによって評価されるべきものと思われる。本事業単独で、委員会の開催数で評価を行うことは、評価の枠組みからやむを得ないこととはいえ問題が残る。歴史文化基本構想が策定されたため、本事業は終結し、地域計画策定や基本構想に基づく他の事業や施策へ移行するものと思われる。
--------	--

## 9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input checked="" type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止
		<input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了	
今後の課題・方向性	策定した「鳥取市歴史文化基本構想」を踏まえ、文化財の保存・活用について市の制度の見直しや市民活動の支援等について検討していく。		

# 自己点検・評価シート

整理No.	51		
事務事業名	埋蔵文化財調査費	所属名	文化財課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】	
	政策	(3) 歴史と文化が息づくふるさとの創生	
	推進施策	2. 伝統文化や歴史遺産に刻まれた先人たちの足跡に触れることで、地域への理解と絆を深め、郷土を愛する豊かな人間性を持った人材を育成します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	埋蔵文化財
意図 (どのような状態にするために)	適切な状態で保存し、将来に伝える。
手段 (どうするのか)	調査を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内容	年度別計画	埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。	埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。	埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。	埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。	埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。	
	年度別実績	布勢遺跡 64.1㎡ 鳥取城跡 30.0㎡ 宮長竹ヶ鼻遺跡 112.0㎡ 計3件					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	16,875	0	0	0	0	
	直接経費 A	9,565	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,084				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	4,481						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>(1) 事業の概要 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努めた。埋蔵文化財包蔵地等の開発に当たっては、埋蔵文化財調査を行い、遺構や出土遺物等について記録保存し、発掘調査報告書として知己の歴史文化等を後世へ伝えていく。</p> <p>(2) 事業の成果 【調査場所】 布勢遺跡 64.1㎡ 鳥取城跡 30.0㎡ 宮長竹ヶ鼻遺跡 112.0㎡ 計3件 206.1㎡ 【開発協議件数】 183件</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	発掘調査の件数	件	目標	5	5	5	5	5
				実績	3				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	発掘調査の件数	%	60%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	埋蔵文化財等を保護するために調査を実施することは妥当である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	埋蔵文化財等を保護するために事前に調査し、遺跡の有無等を確認することは開発事業調整を図るために有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	開発との調整等、文化財保護を図るために必要最低限の調査であり、効率的である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	開発事業と文化財保護の調整を図ることは国民の共有財産である文化財を保護することができ、公平である。
担当課等の評価コメント	開発事業の状況によって必要になる事業であり、社会情勢に大きく左右され、事務局側で目標などを設定するのは困難である。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	開発事業にともない事前協議をふまえて、必要な場所に発掘調査を行うことから、目標設定が難しい。開発協議件数も依然として高い数字となっているが、開発行為の内容変更により発掘調査が不要となる場合もあるとのことである。このような結果として埋蔵文化財の保護に繋がったような案件についても、活動指標として計上するようにしてはどうか。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本市内で実施される開発事業に対応して発生する事業であるため、事前の計画や目標設定は困難である。一方で、評価年度を含めて必要な調査に対して適切に対応してきており、本事業に期待される体制整備と活動は維持されていると考えられる。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input checked="" type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	引き続き適正に事業を実施できるよう体制の維持・整備を図る。活動指標については今後見直しを図る。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	59	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	電子図書館管理運営費	所属名	中央図書館

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	II	郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます！【徳を啓く】
	政策	(4)	親しみのある読書環境づくりの推進
	推進施策	1.	年齢や障がいの有無などにかかわらず、すべての市民が読書を通して、豊かな心や夢を育み、人づくりや地域づくりを推進します。

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	電子図書館の整備で、子どもから大人まで、いつでもどこでも学べる環境を作る。
意 図 (どのような状態にするために)	コロナ禍や災害で図書館が休館となった場合でも、電子図書館により図書館サービスを図書館に出向くことなく市民に提供できる体制を整える。 また、音声読み上げ機能を持った電子書籍の整備により、障がいをお持ちの方などの図書館利用の利便性や読書環境を向上させる。
手 段 (どうするのか)	電子図書館システムを導入するとともに、市民に提供するコンテンツを整備する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	電子図書館システム導入事業の精査	電子図書館システムの導入・運用 電子書籍（コンテンツ）の整備	電子図書館システムの運用 電子書籍（コンテンツ）の整備	電子図書館システムの運用 電子書籍（コンテンツ）の整備	電子図書館システムの運用 電子書籍（コンテンツ）の整備	
	年度別実績	電子図書館システム導入事業の精査					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源							
人件費 B	0	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員						
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	令和4年3月に鳥取市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（鳥取市読書バリアフリー計画）を策定した。この計画では、障がいの有無に関わらず、すべての市民が読書活動を通じて文字・活字文化の恩恵を受けることができる読書環境の整備として、音声読み上げ機能等を持った電子図書館システム（電子書籍の提供）の整備の方向性を示した。 図書館利用の利便性や読書環境を向上させるとともに、電子図書館による非来館者サービスを市民に提供できる体制を整えるための事業内容の精査を行った。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	市民100人あたりの電子書籍貸出冊数	冊	目標		1	1	1	1
		実績							
	(指標の説明)								
	2		目標						
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	市民100人あたりの電子書籍貸出冊数	冊					
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	仕事や身体障がいなどにより、開館時間内の図書館利用や読書環境に困難をともなう人が存在する。障がいの有無に関わらず、すべての市民が読書活動を通じて、文字・活字文化の恩恵を受けることのできる社会の実現に取り組む使命がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	令和2年度、新型コロナウイルス感染症拡大により、図書館も休館に追い込まれた。コロナ禍や災害が発生しても、24時間365日、いつでも、どこにいても、インターネットを通じて、電子書籍の貸出、返却ができる電子図書館の整備は有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	インターネットを通じたサービスの提供であるため、市民のあらゆるニーズに対応した電子書籍の提供、GIGAスクールのさらなる活用などに有効である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	子どもから大人まで、だれでも、いつでも、どこでも、学べる環境を作ることができる。
担当課等の評価コメント	令和4年12月に電子図書館システムを運用開始する。今後、電子図書館を核とした鳥取市読書バリアフリー計画の推進を図っていく。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	令和4年1月に令和3年度補正予算で本事業に取り組むために動き出しているため、令和4年度に電子図書館システムを導入しているため、令和3年度の事業実績はない。今後、計画的に購入コンテンツを充実させていくための計画を立案していくことを期待したい。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	評価年度は事業の準備段階であり、事業費も発生していない。事業評価を行うべき段階ではないと思われる。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	毎年度1,000コンテンツ程度の電子書籍を拡充することにより、電子図書館を核とした鳥取市読書バリアフリー計画の推進を図る。

## 自己点検・評価シート

整理No.	62	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	地域社会教育活動総合事業費	所属名	中央図書館

## 1. 基本情報

位 基 教 置 本 育 づ 計 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅱ 郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築きます!【徳を啓く】	
	政策	(4) 親しみのある読書環境づくりの推進	
	推進施策	3. 学校・家庭・地域と図書館との連携を図りながら、子どもたちの読書活動を推進し、家庭・地域の教育力の向上を図ります。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民が、本に親しむ機会を提供する。
意 図 (どのような状態にするために)	市民等が本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るとともに、地域文化の発展に寄与する。
手 段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、おはなし会等の事業を実施するとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施する。また、各種事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進するとともに、高齢者向けの講座「音読教室」を実施するなど読書活動の推進を図る。こども食堂への支援に取り組む。	・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本	・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本	・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本	・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本	
	年度別実績	・「おはなし会」など子ども対象事業の開催 ・読み聞かせボランティア養成講座の開催 ・ブックスタート事業の協働実施 ・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催 ・こども食堂への配本					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,212	0	0	0	0	
	直接経費 A	557	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	557						
人件費 B	3,655	0					
職員数の内訳	正規職員	0.50					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>読書活動の推進のため、次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各図書館で毎週定期的に「おはなし会」など子ども対象事業を開催</li> <li>・絵本の読み聞かせボランティア養成講座を開催</li> <li>・ブックスタート事業の保健所、読書ボランティア団体との協働実施</li> <li>・文字・活字文化の日講演会、音読教室、郷土講演会等の開催</li> <li>・こども食堂への配本</li> </ul>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	市民一人あたりの図書貸出冊数	冊	目標	4.8	4.9	5	5.1	5.2
				実績	4.2				
	(指標の説明)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	市民一人あたりの図書貸出冊数	冊	88%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	生涯学習施設として、幼児から高齢者の知識や教養の習得を支援し、特に幼いころからの読書習慣を身につけるよう子どもの読書活動の推進を図り、もって、地域文化の発展に寄与する使命がある。
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として、参加者が増加しており、事業をとおして、多くの市民に図書館や本に親しんでもらうことができた。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しているとともに、地元の人材（ボランティア）や職員を講師として活用している。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開しており、広報についても市報をはじめケーブルテレビ、フェイスブックなども活用し、広く周知するよう取り組んでいる。
担当課等の評価コメント	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「おはなし会」など、読書活動の推進に係る事業を中止せざるを得なかったことから、利用冊数が伸びなかった。今後は、市民の読書活動への関心が高まるイベントの開催など、利用率向上に取り組む。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	限られた予算下で、子供の読書活動を推進するための多様な活動を継続している。これらの各活動については、令和3年度の事務事業実施概要の項目で、具体的な実績数字を示すことが望ましいと考える。また、活動指標としては市人口に対する図書館利用登録者数の比率、および利用登録者数1人あたり貸出冊数を用いる方が事業の成果を把握しやすいと思われる。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本事業は複数の取り組みを含むもので、各々が異なる対象に働きかけるものであり、また読書との関わりも強弱の幅がある。このため、全市民的な活動指標である「市民一人あたりの図書貸出冊数」と本事業の効果との関連性は相当弱いものにとどまるものと思われる。また、「市民一人あたりの図書貸出冊数」は図書館全体の評価指標でもあることから、本事業で期待される効果との結びつきの強い他の指標を設定すべきものとする。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	新型コロナウイルス収束後を目指し、より多くの市民に図書館や本に親しんでもらう取り組みを継続する。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	66	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	学校給食運営事業費	所属名	学校保健給食課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】	
	政策	(1) 子どもの健全な食生活と学校保健の推進	
	推進施策	1. 児童生徒の心身の成長や健康の保持増進を図るため、学校給食の栄養バランスを工夫するとともに、地場産物の活用や望ましい食習慣を養う取組など食育の推進を図ります。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市立小中義務教育学校の児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全でおいしい学校給食を継続的かつ安定的に提供する
手段 (どうするのか)	円滑な学校給食の運営を行う

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内容	年度別計画	食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導	食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導	食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導	食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導	食材等、学校給食に必要な物資の購入 学校徴収金システムの運用（学校給食費の賦課、徴収） 残滓等の処理 学校給食の啓発・食育指導	
	年度別実績	学校給食賄材料費： 851,454千円 学校給食費徴収率： 99.22% 市報への学校給食レシピ掲載6回、掲示物「鳥取ふるさと探検」作成10回					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	888,841	0	0	0	0	
	直接経費 A	881,531	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0				
		地方債	0				
		その他	836,577				
一般財源	44,954						
人件費 B	7,310	0					
職員数の内訳	正規職員	1.00					
	嘱託職員	1.20					
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	学校徴収金システムの運用、食材の調達、食育指導、残滓の処分等、円滑な学校給食の運営を行う。
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	学校給食の完食率	%	目標	95	95	95	95	95
				実績	91.5				
	(指標の説明)								
	2		目標						
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	学校給食の完食率	%	96%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	完食率を指標とすることで、児童生徒の心身の健全な発達に向けた取り組みの成果の一部を可視化することができる。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	食育の取り組みを通じて、地場産物の活用による郷土愛の醸成や食に対する関心を高めることで、完食率の向上を図ることができる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	完食率を向上させることで、残滓処理にかかる経費の削減を図ることができる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	栄養教諭等が、全小中義務教育学校に対して、等しく食育指導を行うことができている。
担当課等の評価コメント	コロナ禍のため、生産者との交流等が計画どおり実施できていないが、映像資料を新たに作成するなど、工夫を重ねながら食育指導に取り組むことができている。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	活動指標とした「学校給食の完食率」は、給食の残りを給食配缶量で除して算出している。ただし、新型コロナウイルスの感染者が発生することを考慮すると、当面の間はこの指標のみで学校給食の完食状態を把握することはできないと思われる。ヒアリング時には野菜や家庭での食事での摂取が減っている骨付き魚を残す場合が多いこと等が指摘された。生産者との交流等、食育の取組も行われているが、さらなる食育指導の取組を期待したい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本事業で提供される学校給食と関連する教育を総体として評価する指標として完食率を用いることは、学校給食に対する受益者である児童生徒の評価を反映したものと考えられ、十分に理解できる。本コメント執筆時点では食材の価格高騰が懸念されるようになっているが、量の不足ではなく質の改善による完食率の改善が実現されることを期待したい。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	令和5年度に本市で開催予定の「第64回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会」において食育指導の成果、効果等を報告することになっており、これまでの取り組みを改めて検証する必要がある。各学校へのアンケート等により、課題の整理や今後の活動の方向性を検討していく必要がある。

# 自己点検・評価シート

整理No.	67	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	備品整備 (学校給食センター)	所属名	学校保健給食課

## 1. 基本情報

位 基 教 置 本 育 づ 計 振 け 画 興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ 未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】	
	政策	(1) 子どもの健全な食生活と学校保健の推進	
	推進施策	2. 学校給食センターの再整備、設備の充実に取り組むとともに、食物アレルギー対応等の対策を強化し、安全で安心な学校給食を提供します。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	市立小中義務教育学校の児童生徒
意 図 (どのような状態にするために)	安全・安心でおいしい学校給食を継続的かつ安定的に提供する
手 段 (どうするのか)	各学校給食センターの大型備品を計画的に更新する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	消毒保管庫(鹿野)、給食配送用コンテナ(鹿野)、冷蔵庫	給食配送用コンテナ(第一)、電動水圧洗米機(鹿野)、金属探知機(8センター)、義務教育学校配膳室空調設備	給食配送用コンテナ(第二)、冷蔵庫、配送車(河原)	給食配送用コンテナ(湖東)、冷蔵庫、スチームコンベクション(国府)	給食配送用コンテナ(鹿野)、冷蔵庫	
	年度別実績	消毒保管庫(鹿野)、給食配送用コンテナ(鹿野)、球根皮剥機(第二)、蓄冷剤凍結庫(湖東)、電動水圧先米機(青谷)、冷蔵庫(気高)					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,996	0	0	0	0	
	直接経費 A	11,534	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債	4,350				
		その他	113				
一般財源	7,071						
人件費 B	1,462	0					
職 員 数 の 内 訳	正規職員	0.20					
	嘱託職員						
	臨時職員						

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>安全・安心な学校給食を継続的かつ安定的に供給するため、学校給食センター及び学校備品を更新する。各学校給食センターの大型調理機器について、年次計画的更新を図る。</p> <p>また、年次計画外の機器の緊急修繕・器機更新については、給食の提供に支障がないよう、他学校給食センターと連携し、調理機器を共有しながら対応を行った。</p> <p>年次計画外の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○球根皮剥機(第二)約5200食/日</li> <li>○蓄冷剤凍結庫(湖東)約2900食/日</li> <li>○電動水圧洗米機(青谷)約300食/日</li> </ul>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	学校給食の安定的かつ継続的な提供	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	100				
	(指標の説明) 学校給食を安定的に提供できていること(大型備品の故障等により、供給できない事態を発生させない)								
	2				目標				
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	学校給食の安定的かつ継続的な提供	%	100%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	高額な大型備品については計画的な更新を図ることで突発的な故障を未然に防ぎ、学校給食の安定的な提供と財政負担の平準化を図ることができる。
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	立案時に想定していない故障等の対応を優先せざるを得ないことがある。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	修繕可能なものについては修繕しながら使用しており、効率的な更新を進めている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全小中学校、義務教育学校に対して、等しく安定して学校給食を提供することができる。
担当課等の評価コメント	想定外の急な故障等に優先的に対応するなど、計画通りに進捗していないものもあるが、必要な予算措置を行なうなどにより対応し、給食の提供に大きな支障を出すことなく実施ができています。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	市内の学校給食は、8カ所の給食センターで1.6万食/日の調理が行われ、年間195～200日の提供が行われている。本事業は年次計画で機器等の整備を行うものであるが、想定外の故障等の対応も行われており、令和3年度の事務事業実施概要に記載されている機器の更新を行った結果、学校給食の安定的かつ継続的な提供が100%行われた。これらのことから、令和3年度の備品整備も必要なものであったと判断できる。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	学校給食に関する備品や調理機器等を計画的に整備しているが、突発的な故障等への対応も行っており、「学校給食の安定的かつ継続的な提供」を100%の水準を追求し、それを実現し続けることは容易なことではない。一方、事業の性格上、100%を維持し続けることは当然のように求められる。継続的な改善を目指すPDCAサイクルとは異なる視点からの評価が求められる。しかしながら「学校給食の安定的かつ継続的な提供」という指標は指標の定義や測定方法に不明な点が多く、より具体的なものに改善すべきものとする。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	市内に8箇所ある学校給食センターの再整備を予定しており、大型備品の多くはそのなかで新たに設置されることになるため、将来的に更新計画自体は縮小される見通しであるが、それまでは引き続き計画的な更新を進めていく。		

## 自己点検・評価シート

整理No.	72	鳥取市教育振興基本計画		
事務事業名	子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課	

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ	未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】
	政策	(2)	すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興
	推進施策	1.	乳幼児期から高齢者まで運動やスポーツに親しむ機会の充実に取り組み、体力向上と健康寿命の延伸を図りながら、生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育みます。

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	小学5年生及び中学2年生
意 図 (どのような状態 にするために)	夢を持つことの大切さ、挫折を乗り越える力、仲間を大切にできる心など児童生徒の社会性を養うため
手 段 (どうするのか)	アスリートやアーティストを学校に招き「夢先生」として児童生徒に授業を実施する。授業を通じて児童生徒が感じたことや抱えている問題について夢先生とやり取りし指導を受けることで、児童生徒の夢を応援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		年度別計画	「夢の教室」実施校数：16校	「夢の教室」実施校数：16校	「夢の教室」実施校数：18校	「夢の教室」実施校数：18校
年度別実績		「夢の教室」実施校数：12校				
事業費		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
区分		事業費(A+B)	5,215	0	0	0
直接経費 A		1,560	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	国・県					
	地方債					
	その他	1,560				
	一般財源					
人件費 B		3,655	0			
職員数の内訳		正規職員	0.50			
		嘱託職員				
		臨時職員				

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>授業は正規の授業2コマ（45分授業の2時限）をオンラインで実施。  「夢先生」1名、アシスタント1名、サポートスタッフ1名で実施。  『トークの時間』教室で、トップアスリート「夢先生」の体験談などをもとに、夢について話し合う時間及び子どもたちに自分の夢を考えてもらう時間。  委託先：日本サッカー協会  経費内訳：夢先生・アシスタントの報償費、事務費等。  財源：ふるさと納税基金</p>
-----------	---

## 5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	夢の教室実施校数	校	目標	16	16	18	18	20
		実績		12					
	(指標の説明)								
	2	夢の教室参加者数	クラス	目標	19	19	23	23	25
実績		21							
(指標の説明) 30人/クラス×19クラス(13校×1クラス+3校×2クラス)⇒23クラス(14校×1クラス+4校×2クラス)⇒25クラス(15校×1+5校×2クラス)									

## 6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	夢の教室実施校数	校	75%				
	2	夢の教室参加者数	クラス	111%				

## 7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	一流の人材と交流する機会が少ない本市の児童生徒にとっては、アスリートやアーティストと交流する機会を持つことができ、且つ実体験に触れることで見聞を広めることが可能となる。
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校では得ることが出来ない経験を児童生徒に積むことが出来る点について、学校から高い評価を受けており、学校にリピート率が高い。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	ふるさと納税を用いた青少年育成に関する事業として、児童生徒の健全育成に効果を上げている。
サービスの公平性	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	小学5年生と中学2年生に限定した事業であるため義務教育の間に体験できない児童生徒があったり、人気のある事業だが予算により実施するクラス数が限られてしまい、お断りする学校もあるため。
担当課等の評価コメント	コロナ禍のためオンライン授業が中心となり、夢先生と対面しての触れ合いが減少している状況となっている。学校や市民から人気のある事業であり継続並びに対象校の拡大を要望されている。本市ではアスリートと触れ合う機会は少ないので、今後とも継続していきたい。	

## 8. 学識経験者の所見

## 【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	アスリート（夢先生）との交流を通じて、児童生徒の社会性を伸ばすことを目的とした事業であり、これまで一定の評価をえている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、授業時間確保の対応から目標よりも実施校数が少なくなっている。今後は実施方法の見直しを図るとともに、活動指標についても実施校数・実施クラス数から、より実施効果を判断できる指標に改善していくことが必要な時期に来ていると判断した。
--------	---

## 【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	コロナ禍でオンラインでの実施となったこともあり、実施校数が目標を下回っている。過去、対面で実施した際には学校側からも人気のある事業であり、コロナ禍が終結した後は回復するものと思われる。
--------	--

## 9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	アスリートと直接触れ合える事業として教職員や児童生徒から評価が高い。コロナ禍も落ち着き、久しぶりに対面で実施できることを期待している。小学5年生及び中学2年生を対象としているが実施する中学校は少数であるため、次年度は実施校が増えるよう学校に呼び掛けていこうと考えている。			

# 自己点検・評価シート

整理No.	75	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	地域運営型部活動推進モデル事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名称
	基本方針	Ⅲ	未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】
	政策	(2)	すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興
	推進施策	1. 乳幼児期から高齢者まで運動やスポーツに親しむ機会の充実に取り組み、体力向上と健康寿命の延伸を図りながら、生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育みます。	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	NPO法人鹿の助スポーツクラブ（鹿野学園部活動）
意図 (どのような状態にするために)	鹿野町エリアをモデル地域として総合型地域スポーツクラブによる中学校部活動運営（部活動指導者の人材バンク）を検証する。
手段 (どうするのか)	NPO法人鹿の助スポーツクラブが地域人材を発掘してスポーツ指導者として育成し、部活動指導員として鹿野学園に派遣するスポーツ人材バンクを設置する。また、学校長や顧問と指導方針のすり合わせや生徒等の情報交換を行うことで、学校がこれまで行ってきた部活動と同様のスポーツ活動を生徒に提供する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内容	年度別計画	①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施	①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施	①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施	①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施	①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施	
	年度別実績	①学校とのヒアリング ②スポーツ指導者の発掘と養成 ③休日部活動の実施					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,094	0	0	0	0	
	直接経費 A	439	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	439				
		地方債					
		その他					
人件費 B	3,655	0					
職員数の内訳	正規職員	0.50					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>地域部活動の検証事業（委託事業）          委託者：国⇒県⇒市          受託者：鹿の助スポーツクラブ          対象地域：鹿野町エリア 鹿野学園（7～9年生：75名）          概要：          ①学校部活動の現状把握と指導方針の擦り合わせ          ②教職員、生徒、保護者への部活動アンケートの実施          ③スポーツ人材の発掘、指導者養成と学校とのマッチング          ④スポーツ人材による休日部活動の指導実施</p>
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	地域部活動実施回数	回	目標	10	104	208	208	208
		(指標の説明) 部活動回数(52週×2回(土日)×種目数)							
活動指標	2	指導者派遣人数	人	目標	1	3	3	4	4
		(指標の説明) 地域人材(スポーツ指導者)の学校派遣人数							

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	地域部活動実施回数	回	10%				
	2	指導者派遣人数	人	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域部活動を推進するにあたり、地域団体が部活動運営を行う上での条件や課題を整理する。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	スポーツ庁が想定する運営主体である総合型地域スポーツクラブが存在する校区、且つ学校と地域の距離が近く地域の協力が得やすい校区は鹿野校区である。全校区に拡大してく上でも事業を検証する必要がある。
資源投入の効率性	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	モデル校区を設定して事業検証するため、確実な予算執行が見込まれる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	スポーツ庁の描く地域部活動はまだ不確定な部分が多いため、地域部活動について市民の周知を図られていない。地域部活動を全市展開するうえでもモデル校区を指定し事業検証を行うことは、妥当であると考え。
担当課等の評価コメント	令和7年度には休日の部活動運営が地域に移行されることになる。未だスキームも示されない中、学校、保護者、生徒、地域が混乱をきたさないためにも、本市として地域部活動のあり方を模索する必要がある。国、県、受託者となる鹿の助スポーツクラブと連携しつつ、社会体育として地域部活動にどのようにかわるべきか検証していきたい。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	地域団体が休日の部活動運営を行う上での課題等を整理することを目指しており、令和3年度からの取組である。事業実施にあたっては地域部活動としての指導実施以前の学校側との調整業務が多くなって。このような調整業務についても年度別実績や事務事業実施概要に、定量的な記載をすることが望ましいと考える。
--------	--

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	休日の部活動の運営を地域に移行することは学校教員の業務の正常化の観点からも必要性の高い事業であるが、不安や予想される課題も多い。評価年度の本事業はコロナ禍もあって目標を下回ることとなったが、先駆的な取り組みとして試行したものと捉えれば、その意義は十分にあるものと思われる。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
	今後の課題・方向性

# 自己点検・評価シート

整理No.	82	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	市民総スポーツ運動費	所属名	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ	未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】
	政策	(2)	すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興
	推進施策	4.	新たに整備する市民体育館やバードスタジアムを核とした、すべての市民がスポーツに参画できる安全で多様なスポーツ環境の確保を図ります。

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	市民
意 図 (どのような状態にするために)	①年齢や性別、障がいの有無にかかわらず取り組むことができるニュースポーツ（障がい者スポーツ）の普及促進を図る。 ②学校体育施設を市民に開放することにより、より多くの市民がスポーツ活動を実施できる環境を整える。
手 段 (どうするのか)	①ニュースポーツ用具の市民貸出を行う。 ②小学校の体育館及びグラウンドを、市民に開放する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
内 容	年度別計画	①ニュースポーツ用具：23種 ②学校施設開放：46施設 ※スマート予約システム10月導入 (1)スマート登録団体700団体	①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：56施設 (1)スマート登録団体710団体	①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：56校 (1)スマート登録団体720団体	①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：56校 (1)スマート登録団体730団体	①ニュースポーツ用具：25種 ②学校施設開放：56校 (1)スマート登録団体740団体	
	年度別実績	①ニュースポーツ用具：23種 ②学校施設開放：56施設 (1)スマート登録団体730団体					
事 業 費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	18,867	0	0	0	0	
	直接経費 A	13,617	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	13,617						
人件費 B	5,250	0					
職員数の内訳	正規職員	0.70					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	①ニュースポーツ用具 市民に対し、ニュースポーツ用具の無料貸し出しを実施 ・ 23種目 73セット ②学校施設開放の実施 学校体育施設スマート予約システムによる学校施設開放事業の運用管理 ・ 実施校数 56校（令和2年度より中学校施設10施設増） ・ システム登録団体数 730団体（令和2年度より30団体増） ※学校施設開放スマート予約システムの導入（R3.10.1）
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	1	ニューススポーツ用具の貸出日数	日	目標	1500	1600	1700	1800	1900	
				実績	1559					
	(指標の説明) ニューススポーツ用具の延べ貸出日数									
	2	学校開放(グラウンド+体育館)	延べ人	目標	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	
実績				442,432						
(指標の説明) 【新規】学校開放事業利用人数										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	ニューススポーツ用具の貸出日数	日	104%				
	2	学校開放(グラウンド+体育館)	延べ人	126%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	①健康者と障がい者がともにスポーツに取り組むことができる環境を整備しスポーツを通じたバリアフリー社会の実現に取り組む。 ②学校の体育施設を地域に開放することにより、市民の健康維持に貢献する。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	①ニューススポーツに手軽に取り組むことができるよう用具の貸出をおこなう。(指導者として、別事業でスポーツ推進委員を派遣している) ②住民の健康維持・促進に効果がある。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	①市が用具を管理することが広く競技の普及促進を図るうえで効率的である。 ②地域が管理から、web予約システムの導入を行い、市民の利便性の向上を図っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	①障がいの有無や年齢、性別にとらわれず取り組むニューススポーツを振興し、市民のだれもがスポーツする機会を創出する。 ②全小学校に加え次年度から全中学校の開放も実施することで、本市のスポーツ環境の整備と利便性の向上を図っている。
担当課等の評価コメント	①パラリンピックにおいてポッチャ等の注目度は上がっている。誰でも楽しむことができるニューススポーツ用具を充実させて、スポーツ振興を図りたい。 ②学校開放を行うことで、市民の健康維持・促進に寄与することができる。令和3年10月からwebで予約を受け付け、これと連動した無人の鍵ボックスで鍵の受渡しを行うスマート予約システムを導入した。次年度以降も学校施設開放事業を多くの市民に利用いただけるよう取り組みを進める。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	学校体育施設の開放は、スマート予約システムの導入により延べ利用人数が増加するとともに、これまで利用が少なかった学校施設についても空き状況が可視化されることにより、利用が増加している。学校行事、地域活動、既存団体の活動に対する配慮もなされており、システムの導入が事業目的の遂行に有効に機能していると判断できる。ただし、学校行事等への配慮に関する業務は担当者に委ねられており、一定の負荷がかかっていると推察される。システム管理者の負担軽減も考慮しながらのシステム運用となることを期待したい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	ニューススポーツの普及と学校施設の開放という性格の異なる事業を併せたものであり、それぞれ対応する指標を設定したことは適切である。一方、コロナ禍にも関わらず評価年度の実績はともに目標を上回っており、本事業のニーズが高いことを伺わせる。この傾向が続くようであれば、目標数値を引き上げることも考えられる。
--------	---

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	学校体育施設を利用したいという団体の申し込みや、ニューススポーツの貸し出し件数は増加しており、スポーツ人口の拡大に結びついている。ただし無料で実施する事業であるため営利企業や営利団体の問い合わせも増加しており、利用の可否について慎重な判断が求められる。適宜、利用者に情報を発信し適切な事業運用が行えるよう取り組んでいきたい。

## 自己点検・評価シート

整理No.	85	鳥取市教育振興基本計画	
事務事業名	市民体育館等再整備事業費	所属名	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位基教 置本育 づ計振 け画興	体系区分	コード	名 称
	基本方針	Ⅲ	未来を創造する健やかな体を育みます！【体を拓く】
	政策	(2)	すべての市民がいつでも親しむことのできるスポーツ活動の振興
	推進施策	4.	新たに整備する市民体育館やバードスタジアムを核とした、すべての市民がスポーツに参画できる安全で多様なスポーツ環境の確保を図ります。

## 2. 事業目的【PLAN】

対 象 (何を、誰を)	PFI鳥取市民体育館株式会社
意 図 (どのような状態 にするために)	P F I手法を用い民間事業者のノウハウを活用したうえで、本市の市民スポーツの拠点施設となる市民体育館を整備しスポーツによる健康及び健康寿命の増進を図る。
手 段 (どうするのか)	鳥取市民体育館の再整備（建替え）を行うにあたり、事業者内で行われるセルフモニタリングが適正に実施されているかをチェックするとともに市としても適正な建設及び管理が行われるようモニタリングを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内 容	年度別計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		旧施設の解体及び新施設の建設に対するモニタリング	新施設の建設及び運営・管理に向けた準備協議に対するモニタリング	開館前（竣工）準備及び運営・管理に対するモニタリング	運営・管理に対するモニタリング	運営・管理に対するモニタリング	運営・管理に対するモニタリング
内 容	年度別実績	旧施設の解体及び新施設の建設に対し定例会等を通じてモニタリングを実施した。					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,287	0	0	0	0	
	直接経費 A	5,170	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他	5,170				
一般財源	0						
人件費 B	5,117	0					
職員数の内訳	正規職員	0.70					
	嘱託職員	0.00					
	臨時職員	0.00					

## 4. 令和3年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	市民体育館を民間のノウハウを活用したPFI手法により整備する。また、設計・施工・維持管理運営の各段階で、本市の求める要求水準を満たす業務を受注者が行っているか、定期的なモニタリングを実施するための支援業務を委託する。
-----------	--

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	1	モニタリングの実施回数	回	目標	12	12	12	12	12
				実績	14				
	(指標の説明) 事業が適切に実施されることを確認するとともに適宜、指導・是正が行える体制の確保を行う。								
	2			目標					
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指標達成率	1	モニタリングの実施回数	回	117%				
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民のスポーツ活動・振興の拠点となる市民体育館を市と事業者が一緒になり、より市民が活用しやすい環境を確保する必要がある。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実施業況等について適宜、モニタリングを実施することにより事業者との連携を図るとともに必要な指導が生じた場合には迅速な指導・是正を図ることができる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	財務等の専門的な知識を有した者へ支援業務を依頼することにより、より適切なモニタリングを実施することができた。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業者が提示した提案内容に沿って事業が展開されているのかをモニタリングすることにより監視することができた。
担当課等の評価コメント	旧施設の解体から新施設の設計・建設にあたり、適宜、的確な協議・相談を行うことができていると考える。特に事業内容に変更が生じた場合については、その適格性等について、しっかりと協議を行い実施ができていると評価している。	

8. 学識経験者の所見

【松村一善氏 評価結果】

評価コメント	主として毎月実施される定例会議の場で、事業者によるセルフモニタリングの結果についての報告を受けるとともに、事業者内での1～5次までのチェック状況の確認、別途提出が求められる各種報告書の依頼・確認等が行われており、適切に事業が実施されていると判断した。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	市民体育館の再整備はPFI事業であるため、行政には事業者が事業目的や施策の目的に沿って業務を適切に遂行するか、監視・監督が求められる。活動指標としてはモニタリングの回数を設定することは理解できる。評価年度のモニタリングの実際について説明を受けたが、今後も事業者と適切な距離を保ちながら質の高いモニタリングを維持することを期待したい。
--------	--

9. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
今後の課題・方向性	市民体育館の建設にあたって、施主となる本市と施工事業者や指定管理者の三社を取りまとめ進捗管理を行うコンサルタント業務は、令和4年度をもって終了となるので事業廃止となる。次年度からは指定管理契約に基づき、施設運営や市民サービスの提供について随時確認を行うこととなる。		

## V 学識経験者の意見（総評）

【松村一善氏】

令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の流行が終息せず長期的な対応が続く中、令和3年度も鳥取市教育委員会をはじめ、関係者の皆様にとって大変な年度となった。このような非日常の環境が継続する中で事業に取り組みられた多くの関係者の皆様の努力に敬意を表したい。

令和3年度は、第2期鳥取市教育振興基本計画の初年度であり、鳥取市教育委員会が実施した88事業のうち、24事業が自己点検・評価の対象となった。対象事業のヒアリングでは、困難な環境下においても様々な取組が行われていることが確認できた。ヒアリングを通じて気付いた点を2点指摘したい。

第1は、第1期基本計画との関係性、第2期基本計画の他事業との関係性についてである。自己点検・評価のヒアリングは、事業単位で行われるが、各事業の位置づけについては自己点検・評価シートの基本情報に記載されている内容が説明されるだけであり、基本計画の基本方針、その下での政策、推進施策とヒアリング対象事業の関係性をヒアリング段階で把握することは難しい。また、類似の事業が他の基本方針・政策・推進施策下で取り込まれている場合も、事業間の関係の把握が難しい。

一方、第1期から継続して第2期も取り込まれている事業も存在するが、第1期との継続性有無、第1期期間の評価指標等については記載されていないため、継続事業としての評価が困難となっている。以上をふまえると、自己点検・評価シートには、可能な範囲で第1期との連続性や評価指標、第2期の他事業との関連性についての情報を記載することが必要であると考えられる。

第2は、地域との関係についてである。基本方針Ⅰの政策1「社会を生きぬく力を育む教育の推進」では、具体的な取組として「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進」が掲げられ「学校・家庭・地域が目標を共有し、その実現のため地域と共にある学校づくりをめざします」とされている。また基本方針Ⅰの政策3「充実した教育環境の推進」では、推進施策3として「学校区再編推進事業」が取り込まれ、保護者や地域の多様な思いを地域全体の意向として集約するために「学校のありかたを考える検討組織」づくりが進められている。さらに、基本方針Ⅱの政策2では、推進施策2で「地域住民や保護者等も含め、市民一人ひとりが教育の当事者となり、社会総がかりでの教育の実現」を目指し、「学校を核とした地域づくり」を実現するための仕組みづくりとして、地域学校協働本部の設置が目指されている。

このように、複数の重要政策・施策で「地域」が政策・施策に関わることが目指されているが、政策・施策によって「地域」の領域・ステークホルダーが異なる場合も想定される。それぞれの政策・施策が対象とする「地域」が重層的に広がっていると想定の方が現実的であろう。その場合、重層的に広がる「地域」とそれぞれの主体（「学校運営協議会」、「学校のありかたを考える検討組織」、「地域学校協働本部」等）をつなぎ、合意形成を図る場をつくることが重要になるが、このような目的を持つ事業は見受けられない。各政策・施策の効果をあげるためには、この点の改善が必要になるだろう。

【石川真澄氏】

本評価年度より、第2期鳥取市教育振興基本計画とそれに基づく事務事業に移行している。このため、昨年度までとは事業の名称や区分、評価指標など、随所で変化がみられる。一方で、コロナ禍が2年目に入り、本市やその教育現場でも感染者やクラスターの発生が身近な日常となった時期でもあった。その意味で、本評価年度の事業もまた正常な、意図した形で行われた事業を評価したものではなく、PDCAサイクルとして利用することは限界がある。それぞれの現場で、事前の予想や想定と異なる対応を迫られる中で事務事業に取り組まれた方々に敬意を表したい。

自己点検・評価の枠組みとしては、教育振興基本計画で挙げられた目標値を活動指標として設定する事業が多くみられたが、上位の計画とそれに基づいた事業との関係性から妥当であり、各事業のPDCAサイクルが上位の計画のサイクルと連動することが明確となっている。また、教育振興基本計画が上位の計画として教育委員会の事務事業全体の上位の目標に沿って指標を設定する傾向が見られ、結果的にこれと連動することで自己点検・評価もアウトカム志向のものに近づいている。しかしながら、一部では事業の実際と指標との関係性が弱いものも見受けられる。上位の計画との整合性よりも、事業本来の目的からみた指標とした方が、今後の事業の点検・評価には有用と思われる。

また、自己点検・評価の際には事業の結果を反映した数値的な指標等が示されることが望ましいが、反面、そうした資料を収集するために事業と直接関係のない業務負担が発生する問題が生じてしまう。業務ばかり増えて、点検・評価を行っても大きな変化が生じないということであれば、負担感ばかりが残ってしまう。今回、一部の事業で全国学力・学習状況調査など、他で実施した調査結果で得られた指標を利用するものがみられたが、現場の負担を抑制しつつ数値的な成果を測る方策として評価したい。

令和4年度の終わりに近づき、コロナ禍の終わりの兆しを感じられるようになってきた。一日も早くすべての事務事業が本来意図した姿で実施され、それに基づいた評価が改善へとつながる本来のサイクルが回復されることを期待したい。